

平成 30 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人祥風会
理事長 羽鳥 圭一

<目次>

祥風会本部 P1~7



社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業
P8~9



特別養護老人ホーム飛羽ノ園 P10~25
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ P26~30
飛羽ノ園デイサービスセンター P31~40
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 P41~42
土浦市在宅介護支援センター P43~45



特別養護老人ホーム憩いの里 P46~64
デイサービス憩いの里 P65~73
支援センター憩いの里 P74~75
土浦市在宅介護支援センター P76~77



飛羽ノ園デイサービスながみね P78~88
土浦市ふれあいセンターながみね P89~96

社会福祉法人祥風会 法人本部経営報告

1. 法人事業活動状況

①施設関連

「飛羽ノ園」はエレベーター改修工事や冷凍冷蔵庫等の厨房機器の入れ替えを行った。また、漏水がみられたことなど、各種設備の老朽化が進んでおり計画的な改修が必要となっている。

「憩いの里」は汚物除去機と乾燥機の導入により、ランニングコストの削減とサービスの質の向上につなげることができた。設備面では居室のルームエアコンの故障が多く、天井カセット型エアコンも不具合が目立っており入れ替えが必要となっている。

「ながみね」は定期送迎・団体送迎を業務委託から法人採用職員による運転業務を行うことで委託料の削減や利用者に密接にかかわれる体制を整備することができた。設備面ではマッサージ機の入れ替え、障害者駐車場にLED外灯設置、駐輪場に電灯設置、防犯カメラの移設を行った。また、飛羽ノ園と共同で健康フェスを開催（映画、健康相談、歩行チェック）することでながみねの周知を図った。

②経営の透明性の確保

行事等のホームページ更新の頻度を多くすることで施設運営の透明性を図り、求職者や家族への安心感を得ることができた。次年度はホームページのリニューアルにより職員採用や保育関連の内容を充実させていきたい。

③人材確保・育成・管理

他法人との合同就職説明会により新規採用につなげることができた。新入職員は入職後に定期的な面談を行い、入職間もない職員の退職防止につなげることができた。

法人内外施設での実地研修を取り入れることで職員の育成のみならず、自施設の強みや弱みを把握しサービスの質の向上につなげていきたい。

【各種規程の作成、変更】

- ・平成30年4月・・・職員給与規則変更（資格手当）

【総括】

地域貢献活動の一環で民間社会福祉協議会が主体の買い物支援サービスを実施したが、当法人独自の貢献活動のための計画を策定していきたい。また、各施設とも新電力を導入し電気量を削減することができた。また、手指消毒などに使用していた薬液は塩素水生成機器を導入することで経費削減に努めることができたので今後も消費税増税を視野に入れた経費の削減を心がけていきたい。

2. 事業内容

*祥風会設立認可・・・平成元年 6 月 26 日

*創立登記・・・平成元年 6 月 27 日

*理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成 21 年 8 月 10 日

*土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6 階(平成 24 年 12 月に移転)

介護職員初任者研修事業開始年月日(平成 26 年 4 月 1 日)

実務者研修事業開始年月日(平成 30 年 6 月 1 日)

平成 26 年 2 月 14 日指定(指定番号 45)

事業所名		所在地	事業開始年月日	介護保険指定日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県 土浦市小松 3-18-18	平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成 6 年 8 月 17 日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成 11 年 11 月 30 日	平成 11 年 11 月 30 日	0870300175
ながみね (指定管理)	飛羽ノ園デイサービスながみね	茨城県 土浦市中村西根 2078-1	平成 15 年 6 月 1 日	平成 15 年 5 月 29 日	0870300811
	土浦市ふれあいセンター		平成 23 年 4 月 1 日		
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県 土浦市高岡 2315	平成 17 年 9 月 25 日		
	短期入所生活介護支援事業所		平成 26 年 4 月 1 日 (増床 20 床)	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	デイサービス憩いの里		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	土浦市在宅介護支援センター		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900740
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成 19 年 4 月 1 日		
			平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900757

3. 理事会・評議員会開催状況

第1回理事会	平成30年5月24日(木)	法人本部にて	12:05~13:05	出席者6名
第1号議案 平成30年度事業報告書(案)				
第2号議案 平成30年度決算報告書(案)				
第3号議案 職員給与規定の変更について(資格手当の追加)				
第2回理事会	平成31年3月15日(金)	法人本部にて	10:05~12:05	出席者6名
第1号議案 平成31年度事業計画書(案)				
第2号議案 平成31年度当初予算書(案)				
第3号議案 施設長の任免について				
第4号議案 桜川保育園移管先決定について				
第5号議案 保育園建築に伴う一般競争入札に参加する者に必要な資格要件と入札公告案について				
理事(7名)				
羽鳥 圭一(理事長)	羽鳥 栄子			
増山 栄	今高 國夫(産業医・嘱託医)			
富島 裕	河田 輝子(研修室室長)			
和田 宏一(特別養護老人ホーム憩いの里 施設長)				

第1回評議員会	平成30年6月8日(金)	法人本部にて	18:00~19:30	出席者7名
第1号議案 平成29年度事業報告書(案)				
第2号議案 平成29年度決算報告書(案)				
第3号議案 給与規定の変更について(資格手当の追加)				
第2回評議員会	平成30年12月13日(木)	ホテルマロウド筑波	17:00~17:30	出席者5名
第1号議案 監事の選任について				
第3回評議員会	平成31年3月22日(金)	法人本部にて	10:10~11:15	出席者3名
第1号議案 平成31年度事業計画書(案)				
第2号議案 平成31年度当初予算書(案)				
第3号議案 施設長の任免について				
第4号議案 桜川保育園移管先決定について				
第5号議案 保育園建築に伴う一般競争入札に参加する者に必要な資格要件と入札公告案について				
※後日書面表決にて、全員賛成で採決				
評議員(8名)				
高橋 敏夫	君山 毅			
宮崎 三弘(嘱託医)	島田 源			
高野 久	竹若 栄吾郎(弁護士)			
物江 学(社会保険労務士)	中根 祐一			

4. 監事監査の実施状況

平成 30 年 5 月 15 日 (火)	法人本部にて	10:00～
理事の業務執行状況……適正である		
法人の財産管理状況……適正である		
法人・施設の業務執行状況……適正である		
法人・施設の会計状況……適正である		
監事(2名)		
仲田 秀治		説田 賢哉

5. 職員状況

<在籍者数(名)>平成31年3月31日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員	パート職員	合計
法人本部	2	1	0	3
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	23	3	12	38
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ	8	1	3	12
飛羽ノ園デイサービスセンター	7	0	2	9
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	6	0	0	6
特別養護老人ホーム憩いの里	46	1	16	63
デイサービス憩いの里	6	1	5	12
支援センター憩いの里	1	0	0	1
飛羽ノ園デイサービスながみね	7	0	7	14
土浦市ふれあいセンターながみね	3	0	6	9
				167

<入職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	2	2	0	0	0	3	0	1	0	1	3	0	12
憩いの里	2	0	0	0	1	1	2	0	0	3	4	0	13
ながみね・ふれあい	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	6
本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													31

<退職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	1	1	1	0	1	2	0	0	1	0	1	2	10
憩いの里	1	1	0	0	1	1	1	1	0	5	0	3	14
ながみね・ふれあい	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	6
本部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
													31

<離職率一覧>

施設名	平成29年度(%)	平成30年度(%)	前年度比(%)
飛羽ノ園	7.0	17.0	+10.0
憩いの里	19.0	21.0	+3.0
ながみね・ふれあい	10.0	26.0	+16.0
本部	0.0	25.0	+25.0

※離職率(%) = 当期間内の退職者数 ÷ 当期首の在籍者数 × 100

<募集媒体一覧>

	面接回数(回)
4月	0
5月	0
6月	4
7月	5
8月	5
9月	3
10月	7
11月	8
12月	12
1月	5
2月	5
3月	9
合計	63

媒体	採用(名)
新聞折込	0
インターネット	2
祥風会 HP	10
ハローワーク	4
人材紹介	4
職員紹介	3
フリーペーパー	1
再入職	1
企業面接会	3
初任者研修	1
合計	29

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修

日時・場所	研修名・対象者	講師	参加者(名)
4月3日(火)10:00~14:00 研修室	祥風会概要 新人・中途採用者	拠点別相談員及び管理者 振り返り:椎名・河田	13
4月3日(火)14:00~15:00 研修室	初任者・実務者講師研修 担当講師	日本医療企画関東支社 児島氏	7
5月22日(火)13:00~15:00 飛羽ノ園会議室	情報共有 介護支援専門員	総括ケアマネ椎名 河田	9
6月26日(火)11:00~12:00 憩いの里会議室	ニコニコ献立 栄養士	関管理栄養士・弓野管理栄養士 河田	3
6月29日(金)13:00~15:00 憩いの里会議室	高齢者の栄養管理 職員全般	弓野管理栄養士 河田	7
7月17日(火)13:00~15:00 研修室	アセッサーの進捗状況 相談員・リーダー	河田	8
8月2日(木)13:00~15:00 飛羽ノ園会議室	実務者研修介護過程Ⅲ 担当講師	河田	5
9月18日(火)13:00~15:00 研修室	介護の基本・コミュニケーション技術 全職員	飯村リーダー、小松澤相談員	7

12月19日(水)13:00~14:30 研修室	2019年度事業計画抽出 各拠点相談員・リーダー	河田	9
2月27日(水)13:00~14:30 研修室	みんなで一緒に考えよう 全職員	介護労働安定センター奥平氏	10
3月18日(月)13:00~14:30 研修室	事業報告書作成に向けて 作成担当者	河田	7
合計			85

②外部研修

年月日	研修名	研修場所	参加者(名)
平成30年5月25日	新規学校卒業予定者求人受理説明会	土浦市民会館	1
平成30年5月28日	平成30年度 助成金申請説明会	水戸中央ビル	3
平成30年7月6日	働き方改革セミナー	筑波銀行本部ビル	1
平成30年8月7日	人材確保支援セミナー	ワークヒル土浦	1
平成30年8月21日	マイナビ研修	国際会議場	3
平成30年9月1日	健康づくりセミナー	筑波銀行本部ビル	2
平成30年10月19日	いばらき健康経営推進事業研修会	茨城県庁	2
平成30年11月7日	社会福祉法人会計研修会	茨城県総合福祉会館	4
平成30年11月30日	人事管理魅力ある職場づくり研修	県民文化センター	2
平成30年12月4日	働き方改革・ハラスメント対策セミナー	県南生涯学習センター	1
平成31年1月17日	経営協セミナー	総合福祉会館	2
平成31年1月28日	全国老施協新春トップセミナー	憲政記念館	6
平成31年2月6日	公正採用等人権啓発研修会	常総市地域交流センター	2
平成31年2月13日	障害者雇用納付金制度事務説明会	ワークヒル土浦	1
平成31年2月21日	働き方改革セミナー	関彰ビル	1
合計			32

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

室長 河田 輝子

〒300-0823 土浦市小松1-3-33ハトリビル6階
TEL 029-896-3520
FAX 029-896-3522
URL <http://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

受講生の多くは既に他法人に所属しており、働きながら受講していた。また、様々な理由により受講を辞めてしまったり、受講を続けるために一時的に退職してしまう受講生もいた。そういった受講生に対し、方針通り柔軟性を持ってフォローアップ等で応じることができた。今後も継続性を持って取り組んでいく。

2. 内容

(1) 介護職員初任者研修

年間目標人数 80 名としたが、結果は 36 名であった。根強い介護現場の負のイメージが払拭できておらず、従事しようとする者が少ないことや研修室が周知されていないこと等が要因と考えられる。今後は負のイメージの払拭と研修室の周知に力を入れる。

① 実施期間

	期間	受講者数 (名)	修了者数 (名)
第 1 回	4 月 12 日～7 月 26 日	20	17
第 2 回	9 月 6 日～12 月 13 日	16	15
第 3 回	11 月 10 日～2 月 23 日	未開講 (最低開講人数不足)	
合計		36	32

※法人内受講生 3 名含む

② 施設実習・見学会

施設名	実習：第 1 回 (名)	実習：第 2 回 (名)	見学会 (名)
飛羽ノ園	2	0	5
憩いの里	0	0	5
ながみね	0	0	0
合計	2	0	10

③ 年代別受講者数 (名)

世代	20 代		30 代		40 代		50 代		60 代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第 1 回	2	1	1	2	1	6	0	4	0	0
第 2 回	2	2	1	1	2	4	0	1	0	2
男女別合計	4	3	2	3	3	10	0	5	0	2
合計	7		5		13		5		2	

(2) 実務者研修

① 実施期間

	期間	受講者数 (名)	修了者数 (名)
第1回	6月1日～12月11日	11	11
合計		11	11

初めての開講となった。講師との連携では、開講準備のためのすり合わせ等の時間が不足してしまったため、講義内容が重なってしまったり、時間配分がうまくいかないことがあった。ミニテストを活用することでフォローすることができたが、来年度は4月にすり合わせの時間を取り対策する。また、医療的ケアの演習には時間を要するため、教材や講師の確保に努める。その他、模型等の購入・整備により、より効果的な講義を実施することができた。

② 年代別受講者数 (名)

世代	20代		30代		40代		50代		60代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	1	3	1	2	0	1	1	2	0	0
合計	4		3		1		3		0	

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

施設長 和田 宏一

〒300-0823 土浦市小松3-18-18

TEL 029-826-2941

FAX 029-826-2946

URL <http://showfukai.com>

E-Mail hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設（とわ）

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 介護福祉施設

昨年度に引き続いての権利擁護の視点に立ったケアの実践という目標達成に向けて従来・とわと今年度はより日頃のケアを振り返る機会ができた。“権利擁護を意識”して日頃の業務に取り組むことで職員間でのお互いの業務の見直し・改善・気付きに繋がり利用者にさらに安心したケアを実践することが出来た。又、日々の生活を送る中で、個々のニーズに着目して職員間で情報共有して実現まで繋がった。しかしまだまだ実現できなかったニーズや自発的に希望を伝えられずにいる利用者のニーズの把握など日々、変化するニーズに対して利用者だけでなく家族とも関係を深めてサービスに反映していきたい。

看取りケア体制については、入居者・家族の希望を早期に聞き取り、多職種間でその情報を共有話し合いをしてサービス提供を実施することが出来た。そしてさらに看取りケア体制の充実や終の棲家として求められる為には、継続した職員への学ぶ機会の実施や看取りケア対応マニュアルを学んだ事や多職種間で話し合った事を反映させて充実を図っていくことが必要である。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

今年度、稼働率は91.2%を占めることが出来た。しかし長期利用や短期の利用者が入居に繋がった際や他施設への移動があり空床ができた際の、新規利用のベットコントロールに時間がかかることもあった。ケアマネジャーと連携し事前にニーズを拾い、利用待ちの方へスムーズな案内ができるよう改善していく必要がある。

又、長期利用・定期・不定期の利用者のバランスを考えながら利用者・家族のニーズに応えられるように運営していきたい。

3. 稼働率報告

種 別	従来		ユニット		ショートステイ	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
年間ベッド数(最大)	18,250	18,250	7,300	7,300	3,650	3,650
利用延べ人数	18,218	18,205	7,261	7,044	3,243	3,329
稼働率(%)	99.8	99.8	99.5	96.5	88.8	91.2

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 利用者推移・実数

（1）入居者数

月	入所		退所	
	従来	ユニット	従来	ユニット
4	1	0	2	0
5	1	0	1	0
6	1	0	0	0
7	0	0	0	1
8	2	2	3	2
9	2	1	2	0
10	2	0	1	0
11	0	1	0	2
12	2	0	2	0
1	2	1	2	1
2	2	3	3	2
3	1	2	0	2
合計数（月平均）	16（ 1.3 ）	10	16（ 1.3 ）	10
前年度合計数	9	0	9	0

（2）入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	10	8	永眠	9	6
病院	1	2	病院	7	3
老健	1	0	老健	0	1
有料老人ホーム	3	0	居宅	0	0
計	15	10	計	16	10
前年度計	9	0	前年度計	9	0

（3）要介護度別 ※平成 31 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	2	1	2	1	4	2	4	3
2	0	0	4	0	4	0	7	1
3	6	2	14	9	20	11	23	7
4	2	0	12	5	14	5	8	7
5	1	0	7	2	8	2	8	2
合計	11	3	39	17	50	20	50	20
平均要介護度	3.0	2.3	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2

(4) 年齢構成 ※平成31年3月31日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	0	0	1	4	6	4	0	15
	女性	1	0	1	1	7	11	22	43
とわ	男性	0	0	1	0	0	1	1	3
	女性	0	0	0	2	1	4	10	17
合計		1	0	3	7	14	20	33	78
前年度		1	2	1	7	11	20	28	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	4	7	22	10	8	51
	延人数	120	210	641	289	237	1,497
5	実人数	4	7	21	10	8	50
	延人数	124	217	647	310	244	1,542
6	実人数	4	7	20	10	9	50
	延人数	120	210	600	300	270	1,500
7	実人数	4	7	20	10	9	50
	延人数	124	217	620	310	279	1,550
8	実人数	4	6	21	11	10	52
	延人数	124	186	620	337	279	1,546
9	実人数	4	5	22	10	10	51
	延人数	120	150	635	300	282	1,487
10	実人数	4	5	22	11	9	51
	延人数	124	155	664	328	279	1,550
11	実人数	4	5	20	12	9	50
	延人数	120	150	600	360	270	1,500
12	実人数	4	5	18	14	11	52
	延人数	124	155	558	399	314	1,550
1	実人数	4	5	19	14	10	52
	延人数	124	155	583	417	268	1,547
2	実人数	4	5	19	15	9	52
	延人数	112	139	532	372	237	1,392
3	実人数	4	4	20	14	8	50
	延人数	124	124	620	428	248	1,544
30年度	実人数	48	68	244	141	110	611
	延人数	1,460	2,068	7,320	4,150	3,207	18,205
29年度	実人数	37	79	249	129	114	608
	延人数	1,126	2,400	7,459	3,797	3,438	18,220

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数	3	1	7	6	3	20
	延人数	90	28	210	180	90	598
5	実人数	3	1	7	6	3	20
	延人数	93	31	217	183	93	617
6	実人数	3	1	7	6	3	20
	延人数	90	30	210	167	90	587
7	実人数	3	1	7	5	3	19
	延人数	93	31	217	155	93	589
8	実人数	3	1	8	6	3	21
	延人数	93	31	244	144	93	605
9	実人数	3	1	8	6	2	20
	延人数	90	30	240	159	60	579
10	実人数	3	1	8	5	2	19
	延人数	93	31	248	155	62	589
11	実人数	3	1	9	5	2	20
	延人数	65	30	256	150	60	561
12	実人数	2	1	8	6	2	19
	延人数	62	31	248	186	62	589
1	実人数	2	0	10	6	2	20
	延人数	62	0	273	186	62	583
2	実人数	2	0	11	6	3	22
	延人数	56	0	286	152	51	545
3	実人数	2	0	13	5	2	22
	延人数	62	0	323	155	62	602
30年度	実人数	32	9	103	68	30	242
	延人数	949	273	2,972	1,972	878	7,044
29年度	実人数	36	17	76	88	23	240
	延人数	1,095	517	2,291	2,658	700	7,261

《考察》

今年度は冬の時期に入ると永眠による退居が続いた。また入居期間が短いケースも何件かあった。入居前の実態調査や準備を看護職員と連携し情報共有を行い、状態が安定し入居生活が送れる方を見極めていく必要性を感じた。またユニットとわに関しては定員の半数が入退居で入替わった。開所後6年を経過した為、入居者の高齢化が進んだことが考えられる。また動向的に平均介護度が上がっていくことも予測できるので、その変化に対応できるようにスムーズなベットコントロールの準備を行なっていく必要性を感じた。

(6) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4	実人数	0	0	4	6	9	5	0	24
	延人数	0	0	13	44	116	71	0	244
5	実人数	0	0	1	6	6	6	0	19
	延人数	0	0	1	49	97	119	0	266
6	実人数	0	0	3	3	7	5	2	20
	延人数	0	0	12	35	89	117	4	257
7	実人数	0	0	3	1	8	4	2	18
	延人数	0	0	24	12	129	120	25	310
8	実人数	0	0	0	5	8	6	3	22
	延人数	0	0	0	35	129	113	11	288
9	実人数	0	0	1	4	8	4	2	19
	延人数	0	0	2	28	114	97	34	275
10	実人数	0	0	0	6	10	4	2	22
	延人数	0	0	0	46	126	81	32	285
11	実人数	0	1	1	5	8	2	2	19
	延人数	0	3	12	51	129	52	33	280
12	実人数	0	1	3	5	10	3	3	25
	延人数	0	2	38	35	134	59	33	301
1	実人数	0	0	1	6	10	1	2	20
	延人数	0	0	13	68	163	25	12	281
2	実人数	0	0	3	5	9	1	2	20
	延人数	0	0	21	58	160	25	11	275
3	実人数	0	1	1	5	10	2	1	20
	延人数	0	3	3	52	151	31	3	243
30年度	実人数	0	3	21	57	103	43	21	248
	延人数	0	8	139	513	1,537	910	198	3,305
29年度	実人数	0	0	20	78	83	37	6	224
	延人数	0	0	142	1,109	1,223	746	23	3,243

《考察》

新規の依頼と併用して長期利用者、定期利用者の人数をキープしつつ運営することが出来た。

又、新規利用や緊急利用を飛羽ノ園外の居宅介護支援事業所から依頼を受けることが増加してきたので外部ケアマネジャーとの関係作りが構築されてきたと思う。今後もその関係作りを継続しながらも営業活動を通して飛羽ノ園内・外両方のケアマネジャーと連携を図り、飛羽ノ園ショートステイを信頼して利用して頂けるように努めたい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園 (従来型)

【3】重点目標：続・権利擁護に即した自立支援と看取りケアの実施

(1) 権利擁護・尊厳について学ぶ

勉強会を通して権利擁護に関する知識を全職員が得る機会ができ、重要性を再確認する事が出来た。利用者への声掛けや接し方についても個別に指導しながら意識付けをしているが、職員目線の対応になってしまいうことも多く見られ不十分なところもある。各ユニットでのスローガンをしっかりと立て、今後も日常的なケアを見直ししながら改善に努めていきたい。

(2) ニーズ調査

日々のケアやコミュニケーションを通して利用者の要望を聞き取るという意識はできているが、前年度に引き続き居室担当の機能を十分に活かしきれておらず、利用者の「望む生活」の把握や実現にむけての具体的な目標設定には至らない部分もあった。居室担当者を中心に具体的な取り組みができる様、利用者・家族とのコミュニケーションを密に図りながら動いていきたい。

(3) 「看取りケア」マニュアル等の作成

勉強会や研修等を通し「看取りケア」とは何かを学び、職員一人一人が最期のケアに向き合う姿勢を見につける事が出来た。進め方の手順も確認する事は出来、前年度から引き続き作成に取り組んでいた具体的な「看取り指針・マニュアル」「フローチャート」を完成させた。最期まで穏やかにその人らしく過ごせるように多職種が連携しケアを行なっていく為、定期的な見直しを行ない、職員間で共有し、寄り添った「看取りケア」が行なえるように今後も取り組んでいきたい。

《考察》

権利擁護や看取りケア等、職員の意識付けも進み、目標達成に向けて少しずつ取り組んでいる。また会議の場や日常のケアの中で対応策や改善策について職員から多くの意見が聞かれることが増えてきたように思う。利用者や家族との日々の関わりの中で思いや意向を把握し、より良いケアに繋げられるように多職種連携しながら協力し、今後も目標達成に向けて反省点を活かしながら取り組みを継続していきたい。

2. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
75~79	男	1	0	1	1	0	0	0	3
	女	1	1	0	0	0	0	0	2
80~84	男	3	1	0	0	0	0	0	4
	女	1	2	0	1	1	1	1	7

85～89	男	0	0	1	1	0	1	0	3
	女	2	2	1	2	3	1	1	12
90～94	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	2	4	3	0	2	0	0	11
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	3	1	0	0	0	4
計		10	13	10	6	6	3	2	50

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※平成 31 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	41	7	2	12	29	19	2	32	16	4	12	34
前年度	38	8	3	10	28	13	3	27	20	3	9	38
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	18	13	19	23	17	10	9	3	13	12	13	13
前年度	19	15	16	20	24	6	11	3	11	14	11	11

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	105	117	111	125	91	120	128	116	115	119	113	122	1,382
処置	105	67	123	110	68	50	61	64	63	54	88	121	974
軟膏・湿布	297	232	247	317	438	244	341	310	340	287	234	316	3,612
テープ	126	152	157	159	137	135	139	133	127	78	73	102	1,518
救急対応	1	1	1	1	1	0	1	1	3	0	1	1	12
看取り	1	0	0	0	2	1	1	0	2	1	0	0	8

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	1	192	4	64	0	0	410
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数(名)	2	0	144	0	0	3	

(5) 入浴実施状況

①特養

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	109	153	171	155	158	152	157	139	139	112	111	100	1,656
一般浴	285	274	244	260	289	239	292	278	288	296	256	279	3,280
合 計	394	427	415	415	447	391	449	417	427	408	367	379	4,936

②短期入所生活介護 (予防・空床利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数(名)	65	84	65	80	77	78	89	88	77	98	81	74	956

《考察》

利用者に安心・安全な生活支援を観察力を深めて情報を適確に判断して進めることができた。又、高度な医療知識や技術に関しても共有しながら、医師と連携を図り治療等に活かせた。

3. 給食

(1) 平成30年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	1kcal	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,584	52.1	44	522	6.2	0.85	0.94	100	7.2
4月	1,718	66.6	38.7	672	11.7	1.29	0.97	109	9.5
5月	1,719	65.5	38.6	652	11.7	1.27	11.00	103	10.0
6月	1,720	62.6	39.5	658	11.4	1.22	1.00	110	9.8
7月	1,715	62.9	39.3	662	11.5	1.31	0.97	110	9.1
8月	1,708	62.3	39.5	643	11.8	1.27	1.00	113	9.3
9月	1,711	61.2	41.6	633	10.9	1.15	0.97	119	7.7
10月	1,713	64.7	38.3	650	11.2	1.27	1.04	115	8.6
11月	1,686	63.5	40.8	642	11.0	1.19	1.01	114	7.7
12月	1,657	64.2	35.8	640	10.9	1.22	1.00	114	7.5
1月	1,686	66.0	37.3	605	10.7	1.13	0.99	107	7.9
2月	1,680	64.2	36.2	582	10.9	0.98	1.02	112	7.6
3月	1,680	62.5	36.5	564	10.4	0.92	0.97	115	7.7

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,428	17,318	17,405	52,151
ユニットとわ	7,002	6,974	6,967	20,943
ショートステイ	3,051	3,401	3,071	9,523
デイサービス	0	5,455	0	5,455
職員	365	2,538	365	3,268
来客	0	11	0	11
実習生	0	100	0	100
延人数(名)	27,846	35,797	27,808	91,451

②選択食

日時	A	B
H30年4月3日	釜揚げシラス丼	三色丼
H30年5月26日	筑前煮	鮭のムニエル
H30年6月7日	塩ラーメン	酢豚
H30年7月27日	焼き鳥丼	北海丼
H30年9月26日	ポークソテー	野菜コロッケ
H30年10月22日	鯖の柚子香焼き	ミートローフ
H30年11月24日	鮭のマヨネーズ焼き	鶏のおろし煮
H30年12月20日	釜揚げシラス丼	三色丼
H31年1月11日	鶏肉のオニオンソース	白身魚のバター醤油焼き
H31年2月26日	ねぎとろ丼	焼き鳥丼
H31年3月27日	ミートローフ	鮭のマヨネーズ焼き

③行事食（従来型）

1	日 時	H30年4月11日	行事名	イベント食
	彩りご飯、オクラと長いもの清汁、鯛の胡麻味噌焼き、春野菜のサラダ、フルーツ			
2	日 時	H30年5月5日	行事名	こどもの日
	ソラマメと貝柱の炊き込みご飯、清汁、鯉のたたきおろしポン酢、新じゃがのかき揚げ、フルーツ			
3	日 時	H30年5月30日	行事名	出前食
	握り寿司、散らし寿司、清汁			
4	日 時	H30年6月19日	行事名	イベント食
	紅生姜と大葉のさっぱりご飯、もずく汁、鮎の甘露煮春の名残を添えて、モロヘイヤの白和え、フルーツ			
5	日 時	H30年7月7日	行事名	七夕イベント食
	七夕そうめん、キスと夏野菜の天ぷら盛り合わせ、冷やし茶碗蒸し、フルーツ			
6	日 時	H30年8月10日	行事名	イベント食
	ひじきと枝豆の炊き込みご飯、清汁、野菜入り牛肉のしゃぶしゃぶ、長芋とオクラの梅しそ和え、フルーツ			
7	日 時	H30年8月11日	行事名	納涼祭
	焼そば、おにぎり、から揚げ、きゅうり漬、かき氷、ジュース、フルーツポンチ			
8	日 時	H30年9月15日	行事名	敬老の日イベント食
	栗ご飯、きのこ汁、さんまのしそ巻き天ぷら、菊花の酢の物、フルーツ			
9	日 時	H30年9月16日	行事名	敬老会
	赤飯、刺身、天ぷら盛り合わせ、炊き合わせ、漬物、フルーツ			
10	日 時	H30年10月11日	行事名	イベント食
	松茸ご飯、具たくさん汁、秋鮭のから揚げ野菜あん、春菊の和え物			
11	日 時	H30年11月21日	行事名	イベント食
	きのこ生姜の炊き込みご飯、けんちん汁、鶏蓮根の揚げ饅頭、刺身、リンゴのコンポート			
12	日 時	H30年12月16日	行事名	クリスマス会
	骨付きローストチキン、ショートケーキ、フルーツ盛り合わせ			
13	日 時	H30年12月25日	行事名	クリスマス会
	かにピラフ、コンソメスープ、ローストチキン、クリスマスカラーサラダ、フルーツ			
14	日 時	H30年12月31日	行事名	年越しそば
	なめこおろしそば、天ぷら盛り合わせ、酢味噌かけ、ピーチゼリー			
15	日 時	H31年1月1日	行事名	元旦式
	彩り散らし寿司、清汁、炊き合わせ、おろしあえ、フルーツ			
16	日 時	H31年1月2日	行事名	イベント食
	赤飯、味噌汁、お煮しめ、刺身、ミルク寒のイチゴソース			
17	日 時	H31年2月2日	行事名	節分
	恵方巻き、具たくさん汁、いわしのさつま揚げ、菜の花の辛し和え、フルーツ			
18	日 時	H31年3月2日	行事名	ひな祭り
	にぎり寿司、具たくさん汁、いわしのさつま揚げ、菜の花の辛し和え、フルーツ			

④甘味処

日 時	おやつ名
H30年4月14日	フルーツポンチ
H30年5月12日	ぼたもち
H30年6月9日	どら焼き
H30年7月14日	スイカ割り
H30年8月26日	かき氷
H30年9月9日	饅頭
H30年10月21日	フレンチトースト
H30年11月10日	やきいも
H30年12月26日	ロールケーキフルーツ添え
H31年1月12日	和菓子（練りきり、あんこ玉）
H31年2月9日	チョコフォンデュ
H31年3月9日	手作りどら焼き

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	1	1	46	0	3	2	3	45	2	2	5	4	114

(4) 会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修、土浦地区給食研究会研修、老施協栄養士研修

《考察》

食事摂取量・嚥下機能が低下した利用者に対して看護職員、介護職員、栄養士でその都度話し合いの場を持ち、個人に合わせた食事量、濃厚流動食等の検討し少しでも栄養が摂れ、健康を維持できるように支援した。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居(名)	10	15	5	15	19	18	12	10	10	16	11	10	151
SS(名)	26	19	17	17	16	12	20	18	17	19	18	23	222

※開催合計 入居 66回 SS57回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	0	2	6	1	5	2	1	0	3	5	4	3	32

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所基準検討委員会	申込時に状況や背景の確認が不十分なところもあったが、後日の確認で補えるようにした。施設サービスの必要性や緊急性を考慮し、透明性・公平性を確保し、公正な判断で入所の案内ができた。
2	身体拘束廃止委員会	スピーチロックでの「ちょっと待って」という言葉が頻繁に聞かれた。排泄介助時の声掛け等、プライバシーへの配慮が必要だと感じた。
3	感染症対策委員会	昨年度の対応を活かし、インフルエンザ流行時期に合わせ利用者・家族・職員に対し適切な対策を講じることができ、今回も罹患もなく過ごす事が出来た。皮膚疾患に対しては早期発見に努めると共に、職員の対応方法をもう一度しっかり見直し、全職員が適切な対応ができる様にしていく必要があると感じた。
4	災害防火委員会	年間を通し総合避難訓練及び新たな試みとして警察の協力のもと、特別養護老人ホームにおける防犯訓練を行なう事ができた。毎月の訓練において新しい風を入れることができたのではと感じた。その他、機材確認及び消火器等の設置位置の確認不足があった為課題としたい。
5	認知症対応	認知症の症状を理解し、BPSD がおこる背景や心理状態を把握できるように日々のケアの中でコミュニケーションを図りながら職員連携して対応に努めた。また CW 会議でも対応を検討し、個々に合った認知症ケアに努めたが、解決策が難しい部分もあった。
6	食事・水分委員会	残歯のある方に対しての歯ブラシを使った口腔ケアが継続して行なえなかった。また、給食会議を活用しての食事の検討もできなかったので次年度にもちこしたい。
7	排泄・運動委員会	オムツの発注や排泄表の見直し訂正においては委員会としてしっかりと対応できていたと思うが、介護力向上という面では足らなかった部分がある。
8	入浴委員会	入浴日だからという理由で、浴室まで流れ作業のように誘導してしまっていたように感じる。
9	寄添う看取り委員会	本人、家族の意向や思いをしっかりと聞く事が出来ず、「この関わり方でよかったのか」と考えてしまうこともあった。最期までその人らしい生活が送れるよう、他職種連携しながら、また家族とも話し合いながら対応を行なっていきたいと感じた。
10	褥瘡予防委員会	栄養状態や体重の増減の把握が上手くできずスキントラブルに繋がってしまうことがあった。
11	胃ろう・吸引対策委員会	勉強会の機会をあまり作れず、スキルアップがあまり出来ていないと感じた。又、ケアに関しても医務室にやってもらう機会が多かった。
12	営繕委員会	備品の把握について、一部の職員のみしか把握できておらず、利用者の要望に思う様に反映できなかった。

13	広報委員会	飛羽ノ園だよりにおいて、施設の活動や行事風景等発信することが出来た。より飛羽ノ園を知っていただけるように、掲載内容等を今後も検討しながら更に良いものにしていきたい。
14	レクリエーション委員会	園芸レクの際に花や野菜を植えたが、利用者に見ていただく機会をあまり作ることが出来なかった。又、外出行事に関しても参加する利用者が偏ってしまうことがあったので偏りのないようにしていきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
4	1	外出企画（天川公園）	3	3	0	6
4	22	4月誕生会	1	2	0	3
4	29	散歩（千鳥ヶ岡公園）	3	3	0	6
5	12	甘味処（ぜんざい）	59	11	1	71
5	26	外出企画（牛久大仏）	2	2	0	4
5	29	5月誕生会	1	1	0	2
5	30	日帰り旅行（川越）	14	16	0	30
5	30	出前食	46	10	0	56
6	9	甘味処（どらやき）	58	10	1	69
6	9	外出企画（霞ヶ浦水郷公園）	3	3	0	6
6	10	野菜菜園	4	2	0	6
6	10	出張デパート	15	5	2	22
6	27	6月誕生会	8	5	0	13
7	14	甘味処（すいか割り）	56	11	1	68
7	26	7月誕生会	5	4	0	9
7	28	外出企画（土浦イオン）	4	4	0	8
8	11	納涼祭	80	20	20	120
8	25	8月誕生会	6	3	0	9
8	26	甘味処（かき氷）	58	11	0	69
9	9	甘味処（和菓子）	52	11	0	63
9	16	敬老会	80	20	20	120
9	22	外出企画（土浦市内）	4	4	0	8
9	29	9月誕生会	1	2	0	3
10	21	甘味処（フレンチトースト）	59	11	0	70
10	23	10月誕生会	3	3	0	6
10	24	外出企画（土浦イオン）	4	4	0	8
10	27	外出企画（予科練）	4	4	0	8
11	10	甘味処（やきいも）	57	10	1	68
11	17	11月誕生会	3	3	0	6
11	24	外出企画（土浦イオン）	3	3	0	6
11	25	運動会	57	12	0	69

12	9	12月誕生会	2	2	0	4
12	16	クリスマス会	60	15	20	95
12	24	甘味処（ロールケーキ）	52	12	0	64
1	1	元旦式	80	20	10	110
1	12	甘味処（抹茶ぜんざい）	54	14	1	69
1	16	外出企画（イルミネーション）	4	3	0	7
1	19	外出企画（初詣）	6	6	0	12
1	23	1月誕生会	8	3	0	11
2	3	節分	50	15	0	65
2	9	甘味処（チョコフォンデュ）	46	10	0	56
2	16	2月誕生会	5	3	0	8
3	9	甘味処（鈴カステラ）	49	11	0	60
3	31	3月誕生会	5	3	0	8

6. 研修

(1) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19:00～19:30

月	日	内容（対象者）	参加人数
4	10	高齢者の権利擁護について	30
6	10	認知症ケアの考え方	26
8	10	外部研修報告会①	30
10	10	「感染症」予防・対応について	35
12	10	利用者及びご家族の満足度が高い施設とは	25
2	10	外部研修報告会②	30

②部署内研修

5	10	「ROL(尊厳ある暮らし)」とは	15
7	10	グループケアについて	12
9	10	「看取りケア」を考えよう	18
11	10	認知症ケア・事例検討	11
1	10	今年度の振り返りと次年度への課題抽出	10
3	10	平成30年度介護保険制度改正について	10

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数
施設経営改善セミナー	4月20日	施設長 相談員	介護法改定解説等	2
H30 年度社会福祉法人・施設 一搬査に係わる説明会	5月15日	相談員	施設一搬査説明会	1
助成金申請説明会	5月28日	施設長	公的支援制度	1
平成30年度いばらき介護合同入職式	6月1日	相談員 介護士	介護の未来は面白いなど	3
介護サービス施設・事業所管理者研修会	6月5日	相談員	事業所の適切な運営を図る	1
リスクマネジメント研修	6月19日	介護士	事故発生メカニズムを理解する	1
茨城県社会福祉施設経営者協議会	6月19日	施設長	定期総会	1
認知症実践者研修	7月4日	施設長	受付担当	1
クレーム対応力強化研修	7月5・6日	介護士	利用者・家族に選ばれる組織になるため	1
第2回定例会	7月19日	看護師	情報交換会	1
認知症介護基礎研修 小規模多機能型研修	7月27日	介護士	認知症の人の理解と対応の基本	4
メンタルタフネス入門講座	8月1日	相談員	夢分析をとおして自己成長できる機会	1
会計入門研修	8月4～6日	施設長	簿記の目的・簿記について	1
認知症実践者研修	8月7日	施設長	受付担当	1
中堅職員研修Aコース	8月21日	介護士	中堅職員に必要なスキルを学ぶ	1
アサーション研修	8月22日	介護士	より良い人間関係をつくる為に	1
介護福祉セミナー	8月24日	相談員	介護実践報告	1
アンガーマネジメント研修	9月4日	相談員	じぶんの怒りと向き合い、より良い人間関係を作ろう	1
安全運転管理者講習	9月11日	施設長	安全運転管理者の責務	1
相談員・介護支援専門員研修会	9月26・27日	相談員	相談援助職に求められる説明力	1
平成30年感染症対策 新規担当者研修会	10月9日	介護職	実践！今日から使えるケアの中の感染予防 うつらない！うつさない！ためのポイント	2
県南・土浦ブロック合同施設長会議	10月10日	施設長	施設長会議	1
安全運転管理者講習	10月11日	相談員	安全運転管理者の責務	1
相談援助業務担当者研修	10月15・16日	相談員	じぶんのしごとの専門性を深める	1
キャリアアップ支援研修	10月27日	相談員 看護師 事務員	キャリアデザイン研修 介護ビルダーズ	3
デジタルハリウッド大学 駿河台ホール	11月3日	施設長 相談員 ケアマネジャー	福祉と建築 知る・つながる・やってみる	3
平成30年度個別ケアとケアプラン研修会	11月9日	介護職	24Hシートの理論と作成	2
いばらき介護フェス2018	11月11日	相談員 介護士	介護の日	2

県南・土浦ブロック ケアマネジャー研究会	11月14日	相談員 介護士	職員のモチベーションを高める 組織作り	2
職員のモチベーションを高める組織作り	11月14日	相談員	組織マネジメントと人材マネジメント	1
事例検討会	11月17日	支援	烏山診療所事例検討会	3
実務者研修会	11月21日	相談員 支援	ソーシャルワークの 実践モデルとアプローチ	2
茨城県高齢者権利擁護推進研修	11月21日～ 2月7日	相談員	介護保険制度の概要と 権利擁護について	1
喀痰吸引等研修	12月11日	介護士	実地研修	1
ユニットケア研修	1月21～23日	介護士	松籟荘で実習	1
全国老人福祉施設協議会 トップセミナー	1月29日	施設長 ケアマネジャー	人材不足や介護職の確保	2
平成30年度認定調査員現認研修	1月29日	ケアマネジャー	認定調査のポイント 認知症の理解を深める	6
介護相談員派遣事業三者会議	1月29日	相談員	相談活動等の情報や意見交換	1
土浦民間社会福祉施設協議会	2月4日	介護士	虐待防止・権利擁護について	2
平成30年度社会福祉施設等 給食担当職員研修	2月8日	栄養士 介護士	食中毒と予防法 ライフステージ別の食事等	2
県南・土浦ブロック ケアマネジャー研修	2月18日	相談員	苦情から訴訟まで～弁護士から アドバイス	2
医療・介護に携わる専門職の 研修会及び意見交換	2月28日	相談員	地域包括ケアの視点に立って	2
朝日国際医療福祉専門学校意見交換	3月7日	介護士	施設実習に伴う意見交換会	3
総合事業における 緩和型サービス事業所指定に かかる説明会	3月15日	デイ相談員	緩和型サービス事業の利用促進と 指定事業所拡充の為の説明会	2
主任介護支援専門員更新研修 (8日間)	11月27日～ 3月26日	ケアマネジャー	介護保険制度及び地域 包括ケアシステムの動向	1
合 計				73

(3) 老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

定例会や勉強会に今年度は職員も一緒に参加する機会があり、他施設職員の職員と交流を図れ、刺激を受ける良い時間となった。来年度も交流の機会を利用して新たな情報や刺激を受けて施設運営に活かして行きたい。

《考察》

今年度も多くの研修に参加でき、様々な新しい知識を身につける事が出来た。来年度も、多くの職員が興味のある分野の研修に参加でき、学ぶ機会を増やせるようにしていきたい。また、学んだことを還元できるような体制も継続して確立していきたい。

7. 実習生受入れ

学校名他	実習月	日数	人数	延日数
筑波研究学園専門学校	9	5	2	10
筑波総合福祉専門学校	3	20	1	20
つくば国際短期大学	3	1	2	2
土浦市役所	11	1	4	4
朝日国際専門学校	6・7・11・1・2	49	6	98
アール福祉専門学校	8・9	12	3	36
合 計		88	18	170

8. ボランティアの受け入れ

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
美々の会	46	35	桜の会	8	27
介護支援ボランティア	106	20	介護相談員	5	15
いずみの会	6	30	散髪	25	28
茨城リネンサプライ	1	2	小松町内地区	1	5
桜の会	8	27	四中地区福祉部	1	20
すみれの会	1	6	ピースメーカー	1	15
こもれびの会	1	3	ひまわりクラブ	1	2
中高津お囃子の会	1	7	小松育成会	1	20
			小鈴会	1	4
			合 計	214	266

9. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

【開催実績】○定期開催・・・毎月第一日曜日 9：00～12：00

○イベント開催・・・年間3回“地域支え合い勉強会”

・6/3：第1回「エンディングノートの書き方」 参加者：42名

・12/2：第2回「映画上映会・福祉関係者によるトークイベント」 参加者：48名

・3/3：第3回「スクエアステップ」 参加者：12名

《考察》

昨年に引き続き地域住民に必要とされるテーマを選択し勉強会を開催した。話題の終活「エンディングノートの書き方」をはじめ、在宅介護の映画上映会「かあちゃんに贈るうた」と「福祉関係者によるトークイベント」・転倒予防の「スクエアステップ」と多くの地域の方々に参加して頂き、好評を得られた。定期的に参加して下さる方も増えており“地域支え合い勉強会”が浸透し地域貢献に繋がっていると実感できた1年となった。今後も、気軽に立ち寄れる「地域に開かれた施設」として顔の見える関係を築き、いざという時に、相談していただけるよう努めていきたい。

【4】 重点目標：地域とのつながりをもった生活の提供

（1）24時間シートに即した介護・支援の提供

各担当ごとに24時間シートの見直しを行なってきたが、うまく更新が出来ない部分もあった。今後も職員間で連携しながら状態に合わせ定期的に見直しができる様にしていきたい。

（2）権利擁護に基づいた介護・支援の実践

当初は権利擁護を意識した声掛け等行なっていたが、徐々に意識が薄れてしまい職員主体の声掛けや対応になってしまった。定期的に勉強会を開催し会議の場で権利擁護について意識付けできる様にしていきたい。

（3）クラブ活動・個別活動の推進

個々の活動は少しずつ行なう事ができている。外出に関しては団体で行なう事が多かったので今後は個々の希望を取り入れながら、気分転換や満足感が得られるような行事計画・外出計画を実践していく。「とわ菜園」も継続し、季節に合った植物や作物を栽培していきたい。

（4）地域行事への参加

施設から地域に出て交流を図るには至らなかった。地域の行事を把握して、積極的に参加できる体制を作っていくことが今後の課題である。

《考察》

一年を通して個別ケア・権利擁護を意識して介護に臨んできたが、年度末になるにつれて当初よりも意識が薄れてきていると感じた。これは業務内容が過大になっている部分や、人員不足による心理的な負担なども考えられる。次年度は全職員が意識を継続できる様に、業務の見直し・効率化、人員が不足している部分は、多職種や協力ユニット間の連携を密にし取り組んでいきたい。そして入居者へのサービスの質をより高められるよう、個別の情報収集を行なっていきたい。

1. 医務

（1）長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢	性別	点 数							計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
80～84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	0	0	1	0	0	3
85～89	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	2	0	1	0	1	0	4

90～94	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	2	0	0	0	0	0	4
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	3	2	0	0	1	0	0	6
計		2	8	4	1	3	2	0	0	20

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※平成 31 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	17	2	1	3	9	8	0	15	5	4	12	4
前年度	15	3	2	4	7	9	0	13	7	4	11	5
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	7	9	4	11	5	4	4	1	8	4	3	3
前年度	5	9	6	9	4	7	2	0	9	3	6	6

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	4	12
処置	4	10	18	12	1	12	3	0	16	10	3	43	132
軟膏・湿布	33	46	48	50	11	51	54	58	52	20	17	2	442
テープ	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
救急対応	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
看取り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計	
延人数	0	64	8	0	0	0		696
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	婦人科	耳鼻科		
延人数	0	0	624	0	0	0		

(5) 入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	88	78	83	86	86	74	91	75	88	84	76	84	993
わかくさ	77	85	88	77	85	89	87	79	88	80	71	60	966
合 計	165	163	171	163	171	163	178	154	176	164	147	144	1,959

《考察》

一人一人のニーズに合わせ楽しく安心な生活を送れるように職種を越えて協力することが出来た。救急時など本人・家族の想いを聞き適切に対応、そして医療機関と連携して回復・退院に繋がられた。今後も他職種と連携して事故のないよう業務にあたっていく。

2. 給食

(1) 食事提供状況

①行事食（ユニット・とわ）

1	日時	30年4月26日	行事食	とわ6周年行事食
	焼そば、焼き鳥、焼肉、おにぎり、ジュース、フルーツポンチ			
2	日時	30年5月24日	行事名	むべ行事食
	米飯、新じゃがと豚肉のケチャップ炒め、キャベツとハムのマヨサラダ、ワンタンスープ、漬物、フルーツ			
3	日時	30年6月14日	行事名	わかくさ行事食
	出前食（にぎり寿司）味噌汁、フルーツ			
4	日時	30年6月28日	行事名	むべ行事食
	冷やしむじなうどん、かぼちゃの甘煮、フルーツ、			
5	日時	30年7月29日	行事名	花火大会
	出前食 わかくさ にぎり寿司、むべ 牛丼 味噌汁			
6	日時	30年9月27日	行事名	むべ行事食
	そば飯、搔き玉汁、きゅうりとささみの和え物、デザート			
7	日時	30年10月18日	行事名	わかくさ行事食
	煮込みラーメン、クリームコロッケ、フルーツ			
8	日時	30年10月25日	行事名	むべ行事食
	鮭の炊き込みご飯、白菜とベーコンのスープ、えのきわかめ和え、フルーツ			
9	日時	30年11月10日	行事名	ユニット合同行事食
	けんちんうどん、フルーツ			
10	日時	30年12月16日	行事名	ユニット合同行事食
	けんちんうどん、おかかおにぎり、フルーツ			
11	日時	30年12月16日	行事名	クリスマス会
	骨付きチキン、ショートケーキ、フルーツ盛り合わせ			
12	日時	30年12月27日	行事名	むべ行事食
	米飯、石狩鍋、キャベツ和え、フルーツ			
13	日時	31年2月6日	行事名	ユニット合同行事食
	手巻き寿司、にぎり寿司、けんちん汁、フルーツ			

②甘味処（ユニット・とわ）

日時	おやつ名
5月16日	母の日ケーキ作り
6月10日	白玉あんみつ
7月26日	パンプディング
10月10日	ジャガバター
1月24日	ケーキ（不二家）

(2) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	1	0	20	0	2	1	0	21	0	1	5	3	54

※開催回数 17回

《考察》

開所 6 年経ち、高齢化と嚥下機能低下してきた入居者が増えソフト食や濃厚流動食の提供している人が 4 名程度となっている。看護職員、介護職員と常に話し合いを持って低栄養状態の改善を図っているが食べられない、飲み込めない方の対応については難しかった。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	2	0	4	3	6	3	4	3	4	7	3	1	40

※開催合計 11 回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	0	2	2	0	0	1	3	1	0	0	0	9

4. 委員会

(1) 委員会活動報告 (以下はとわのみの委員会)

5	物品購入委員会 (とわ)	物品の発注量や使用量を見直し、無駄な在庫を抱えないようにすることができた。次年度はチェック表の見直しを行ない、わかりやすく管理し易いチェック表の作成に努めたい。
15	運営推進委員会 (とわ)	職員と入居者の都合が合わず、有意義な会議を開催することができなかった。
16	リハビリ委員会 (とわ)	PT による定期的なりハビリは継続して行なう事ができ、状態の維持ができた。個別リハビリはあまり行なえなかったため、日常生活を送る上での機能維持を目標に個別リハビリにも力を入れていきたい。
17	とわ菜園委員会 (とわ)	昨年度から菜園の場所を移動し、入居者も見えやすく参加しやすい場所で野菜等を育てた。うまく栽培できない物もあったが、今後も継続して取り組んでいきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
4	26	6周年イベント	19	7	2	28
5	9	ケーキ作り	20	4	1	25
5	24	むべ昼食会	10	3	0	13
5	30	日帰り旅行(川越)	14	16	0	30
6	28	むべ昼食会	10	5	0	15
7	26	おやつ会	9	5	0	14
7	29	花火大会	20	10	0	30
8	11	納涼祭	80	20	20	120
9	16	敬老会	80	20	20	120
9	27	むべ昼食会	9	4	0	13
10	18	わかくさ昼食会	10	4	0	14
10	25	むべ昼食会	10	3	0	13
11	10	いも煮会	20	6	0	26
11	28	紅葉ドライブ(外食会)	3	3	0	6
12	3	イルミネーションドライブ	3	3	0	6
12	7	イルミネーションドライブ	3	3	0	6
12	16	イルミネーションドライブ	4	4	0	8
12	16	クリスマス会	20	8	0	28
12	27	むべ昼食会	10	4	0	14
1	1	元旦式	80	20	10	110
1	24	むべ甘味	9	3	0	12
2	3	豆まき	14	6	0	20
2	6	手巻き寿司会	19	8	0	27

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
 指定通所介護・介護予防通所介護事業
 土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
 (通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

今年度より利用者参加型の取り組み「みんなのありがとう」の掲示板を実施した。利用者個々のニーズに応えることが出来るよう、職員だけでなく家族や担当ケアマネジャーとも情報共有し取り組むことが出来た。生活環境や背景因子に着目し支援する必要性を学んだ。

通所介護と総合事業を合同で行い、様々な状況の方々が互いに声を掛け合い、支え合う姿も見られ、生き生きと過ごされていた。そんな中で「みんなのありがとう」の掲示板の取り組みも今回の成果の支えとなっていたと考えている。コップ洗いやテーブルふき、洗濯物たたみ、おやつ作りなど生活にちなんだ内容の ADL (日常生活動作) 訓練を用意し、自主的に選択し行動できるような仕組みを作り、安全にできるよう見守り支援した。結果、利用者間や利用者間で「ありがとう」の声が飛び交い、行動の活力となっていた。

その他、介護支援専門員と連携を図るため月に 1 回の定期報告と、状況変化があった際の随時報告を電話・FAX にて実施した。また、送迎時には家族との良好な関係を構築するために、デイサービスでの利用状況を伝えたり、自宅での生活の状況を聞き取りするなど、コミュニケーションを密に取れるよう努めた。問題については、法人内 3 デイサービス間で相談を行い解決することが出来たが、各々のスキルアップのための活動に対しては課題が残った。デイサービス特有のヒヤリハットや事故の対応策など連携を強化する必要がある。

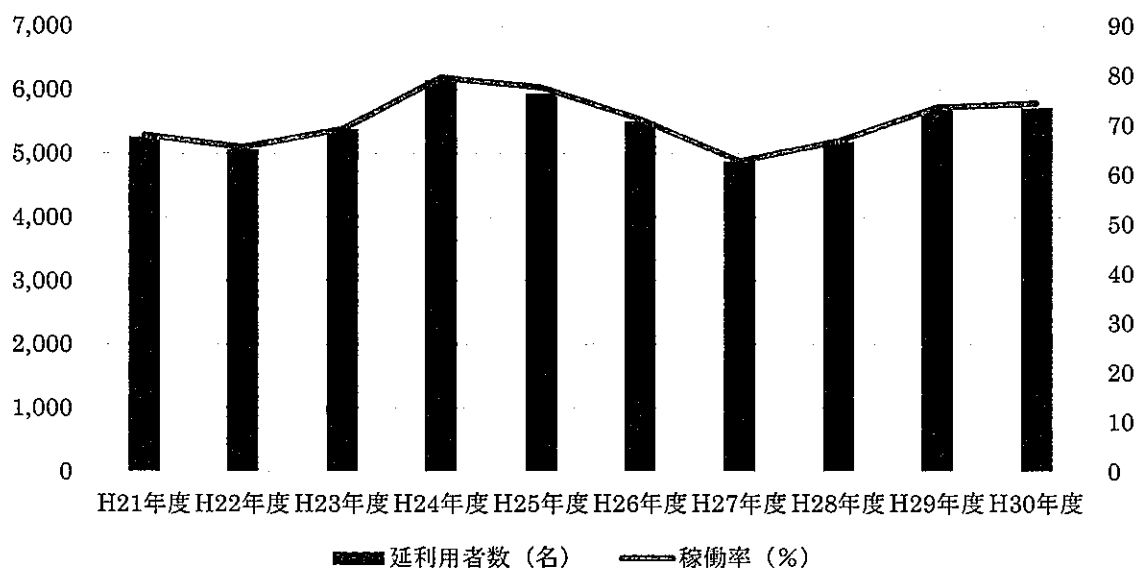
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数 (日)		25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308
実人数 (名)		55	55	57	59	64	60	61	58	58	57	52	55	691
延人数 (名)		468	491	502	521	537	508	520	505	447	386	401	429	5,715
平成 29年度	平均利用者数 (名)	16.2	16.1	16.5	16.8	16.4	16.0	16.1	16.0	16.9	17.3	18.3	18.0	16.7
	稼働率 (%)	64.8	64.4	66.0	67.2	65.6	64.0	64.4	64.0	67.6	69.2	73.2	72.0	66.9
平成 30年度	平均利用者数 (名)	18.7	18.2	19.3	20.0	19.9	20.3	19.3	19.4	17.9	16.1	16.7	16.5	18.6
	稼働率 (%)	74.0	72.8	77.2	80.0	79.6	81.2	77.2	77.6	71.6	64.4	66.8	66.0	74.4
稼働率 (%) 前年度比		9.2	8.4	11.2	12.8	14.0	17.2	12.8	13.6	4.0	△4.8	△6.4	△6.0	7.5

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数（名）・稼働率（％）推移



	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延利用者数（名）	5,255	5,055	5,376	6,140	5,928
稼働率（％）	68.0	65.6	69.2	79.6	77.6
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
延利用者数（名）	5,499	4,874	5,180	5,681	5,715
稼働率（％）	71.2	62.8	66.8	73.6	74.4

(3) 介護度別利用状況

要介護度	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度比	
	延人数（名）	構成比（％）	延人数（名）	構成比（％）	延人数（名）	構成比（％）
事業対象者	0	0.0	0	0.0	—	—
支 1	448	7.9	83	1.4	△365	△6.5
支 2	672	11.8	987	17.2	315	5.4
1	1,916	33.7	2,121	37.1	205	3.4
2	1,475	26.0	1,092	19.1	△383	△6.9
3	856	15.0	1,108	19.3	252	4.3
4	265	4.7	22	0.3	△243	△4.4
5	49	0.9	302	5.2	253	4.3
介護保険外	0	0.0	0	0.0	—	—
計	5,681	100	5,715	100	34	—

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

本年度より始まった取り組み「みんなのありがとう」を行った事で、声掛けの増加や出来ること、やりたいことアセスメント、一人一人の性格を探るなど、利用者との距離がより身近なものとなった。また利用者同士の「ありがとう」の声掛けで、利用者間の雰囲気良くなることを学ぶことが出来た。

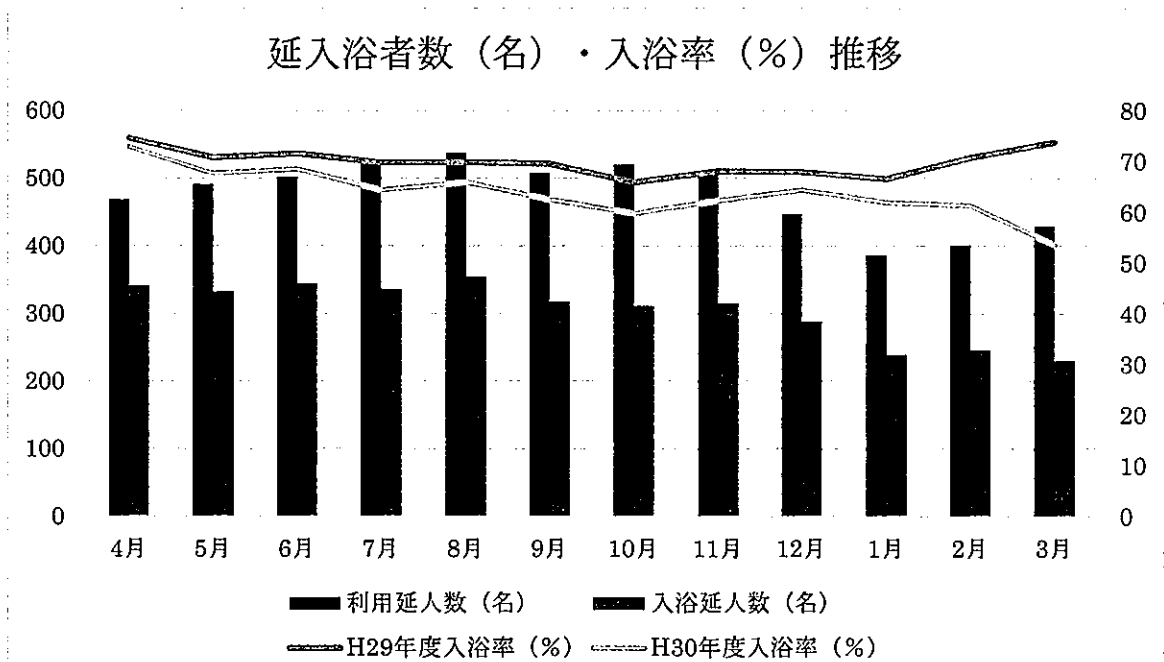
(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

利用者の変化に速やかに対応できるよう、職員全体での報告、連絡、相談を徹底し、変化があった際にはケアマネジャーや家族、他サービス事業所と情報交換し計画を進めることを実践した。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

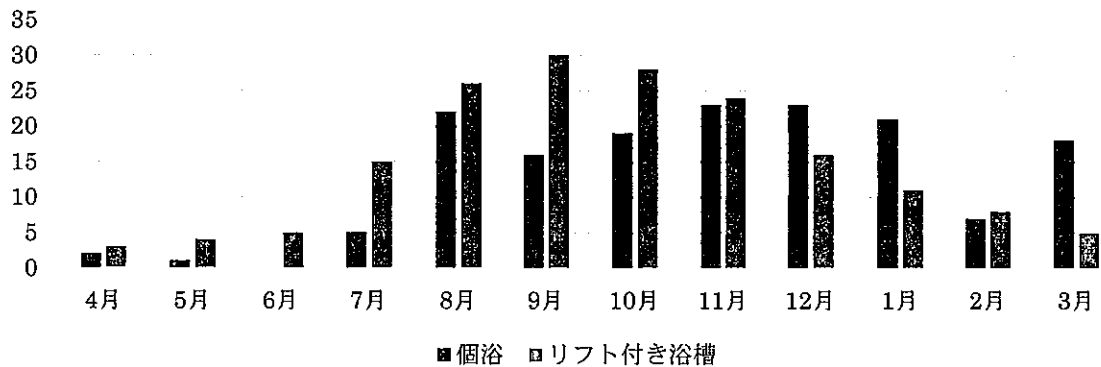
バイタルチェック、表情の観察、ご家族から情報収集を行い、看護師と連携して安全・安心に快適な入浴を提供することが出来た。また、体の状態や当日の気分にも、柔軟に対応できるよう一般浴、個浴、メトス浴や、入浴環境の整備を意識した介助も行った。

全体的な入浴者数の減少があった。原因としては、入浴ニーズのある利用者が入所サービスに移行したこと、社会交流や介護予防を目的とされる利用者が増加したことが考えられる。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数 (名)	468	491	502	521	537	508	520	505	447	386	401	429	5,715	
入浴延人数 (名)	341	332	344	336	354	318	311	315	288	239	246	230	3,654	
入浴率 (%)	平成29年度	74.6	70.8	71.6	69.8	69.9	69.6	65.9	68.1	67.9	66.6	70.8	73.8	70.0
	平成30年度	72.8	67.6	68.5	64.4	65.9	62.5	59.8	62.3	64.4	61.9	61.3	53.6	63.9
前年度比 (%)	△1.8	△3.2	△3.1	△5.4	△4.0	△7.1	△6.1	△5.8	△3.5	△4.7	△9.5	△20.2	△6.1	

入浴形態別延利用状況（名）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個浴	2	1	0	5	22	16	19	23	23	21	7	18	154
リフト付き浴槽	3	4	5	15	26	30	28	24	16	11	8	5	175

(4) 食事サービス

利用前のアセスメント情報だけでなく、利用中の体調の変化による食事形態の変更など柔軟に対応する事ができた。また、選べる楽しみを提供するための毎月のセレクト食や季節を感じる事の出来るイベントメニューも好評だった。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者個々の状態や排泄の間隔に合わせてトイレ誘導やおむつ交換を実施した。排泄介助時には羞恥心や尊厳、プライバシーへの配慮も徹底して行うよう努めた。

(6) レクリエーション・行事

毎日のレクリエーションでは、飽きる事の無いように大人の学校など新しいものを提供した。月の行事として、四季にちなんだものの提供や、外出することで地域の移り変わりや、地域とのつながりの維持も視野に入れ支援した。

【レクリエーション実施状況（回数）】

言葉探し	21	替え歌	20	パラソル玉入れ	9
俳句	17	大漁ゲーム	11	ビンゴ	18
かるた	14	虫食いクイズ	7	ちょんちょんゲーム	10
イラスト伝言ゲーム	7	ポーリング	10	飾りづくり	25
散歩	4	大人の学校	22	唱歌を歌おう	6
レッツ体操	2	いつどこでだれが？	8	言葉あそび	20
しりとり	1	歌体操	5	すごろく	8
洗濯たたみ競争	10	言葉の並べ替え	5	うちわでお手玉	2
何ができる？	2	ティッシュを飛ばそう	2	イントロクイズ	2
				計 27 種類	268

【行事実施状況（日数）】

お花見ドライブ	4	敬老週間	4	初詣	5
柏餅作り	2	ホットケーキ作り	2	甘味ドライブ	6
どら焼き作り	2	クリスマス会	2	桜餅作り	2
夏祭り	2	餅つき	1	誕生会	24
計 12 種類					56

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防事業）サービス

本人・家族の意向を聞き、希望に沿った目標を立て達成できるようメニュー設定した。個別メニューだけではなく、午前・午後集団体操を行い、今年度は「頭を楽しく混乱させる」をテーマに脳トレを導入し、皆楽しく笑いながら間違いや脳の混乱による刺激を体験した。その他季節を感じる外出行事を提供し外出先の環境に合わせた移動や土の柔らかさ、季節に応じた風、花などの匂い等、五感を使用し普段実施できない機能訓練と位置付けた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	234	239	202	246	319	336	327	340	304	271	241	282	3,341
運動器機能（名）	58	65	57	61	85	73	67	77	74	61	49	70	797
合計	292	304	259	307	404	409	394	417	378	332	290	352	4,138

(8) 送迎サービス

利用者の状況に合わせた適切な車両選びや、家族の事情、要望などに対応した送迎サービスを提供した。また、安心安全に送迎できるよう、職員間で道路事情の情報共有を密に行った。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	433	469	481	495	516	478	500	486	429	369	388	412	5,456
(減算)	(21)	(20)	(20)	(24)	(22)	(20)	(15)	(18)	(15)	(8)	(13)	(17)	(213)
送り	450	487	498	516	478	493	511	501	439	371	398	426	5,568
(減算)	(5)	(4)	(4)	(1)	(5)	(5)	(5)	(0)	(5)	(8)	(1)	(4)	(47)
延回数	883	956	979	1,011	994	971	1,011	987	868	740	786	838	11,024
(減算)	(26)	(24)	(24)	(25)	(27)	(25)	(20)	(18)	(20)	(16)	(14)	(21)	(260)

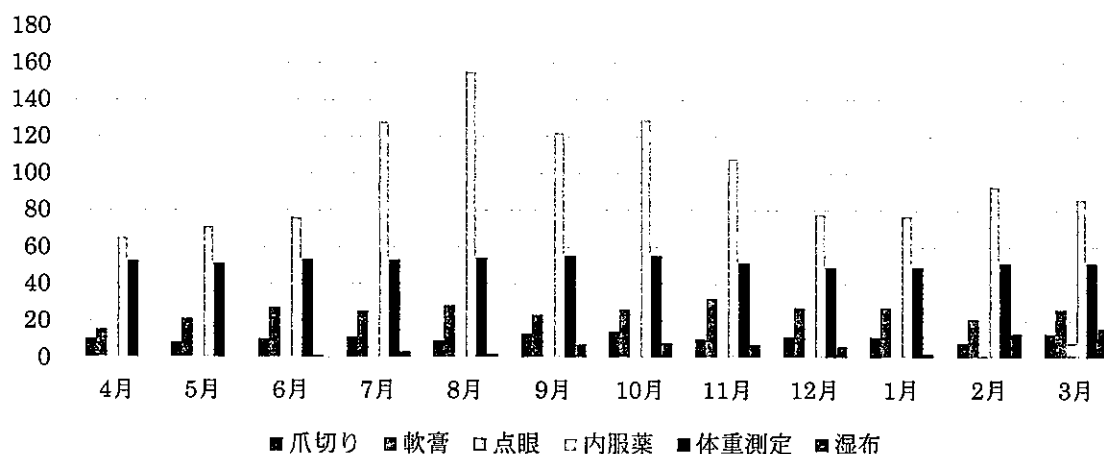
【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	392	342	496	568	615	611	609	734	557	581	498	641	6,644
ランディ	433	451	549	533	526	595	515	542	522	431	398	526	6,021
ステップワゴン	608	583	667	579	679	548	602	814	573	439	565	625	7,282
タント(居)	611	538	648	642	804	824	914	947	737	762	742	844	9,013
タント(特)	811	865	865	923	815	728	834	624	828	825	748	828	9,694
アルトバン	474	500	424	514	837	585	501	707	544	403	648	624	6,761
ハイゼット	412	402	448	469	427	450	521	440	419	298	342	435	5,063
ミラ	168	208	254	216	185	155	153	177	147	169	171	149	2,152
合計	3,909	3,889	4,351	4,444	4,888	4,496	4,649	4,985	4,327	3,908	4,112	4,672	52,630

(9) 看護報告 (処置集計報告)

利用者一人一人に声をかけ、その日の体調や家での出来事を聞き取り、様子観察を行い、月一回の体重測定を実施し体調変化の早期発見に努めた。体調不良時は、家族やケアマネジャーに連絡、報告し連携に努めた。また、利用者・家族の希望により、軟膏や湿布、点眼などの処置を行い、自宅で爪が切れない方の対応も実施した。冬の乾燥する時期は、加湿器や濡れタオルを使用しインフルエンザなどの感染予防に努めた。

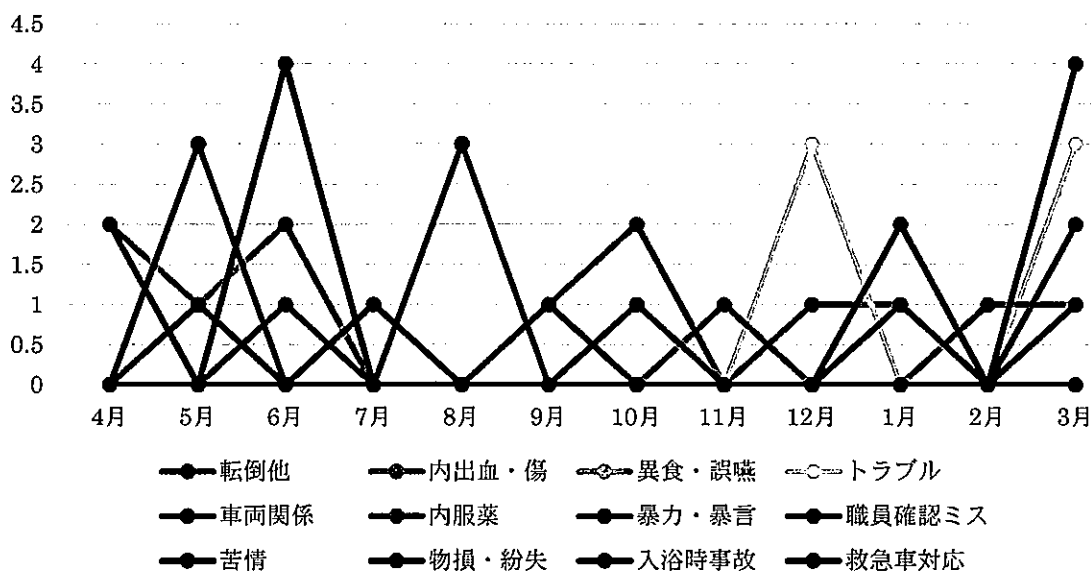
処置集計 (回)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	10	8	10	11	9	13	14	10	11	11	8	13	128
軟膏塗布	15	21	27	25	28	23	26	32	27	27	21	26	298
点眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9
内服薬	65	71	76	128	155	122	129	108	78	77	93	86	1,188
体重測定	52	51	53	53	54	55	55	51	49	49	51	51	624
湿布	0	0	1	3	2	7	8	7	6	2	13	16	65
合計	142	151	167	220	248	220	232	208	171	166	187	200	2,312

(10) ヒヤリハット報告

アクシデント・インシデント・トラブル報告 (回)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒・ずり落ち	2	1	2	0	0	1	2	0	1	1	0	2	12
内出血・傷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
トラブル	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	3	7
車の物損	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	2	6
内服薬	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	5
利用者の暴力・暴言	0	1	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	6
職員確認ミス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	6
苦情	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7
備品物損	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入浴時	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	4	6	8	3	3	4	4	1	4	7	1	15	60

(11) 地域連携・貢献活動 (介護予防教室等)

活動回数は少ないものの、四中地区公民館で講義形式の介護予防教室を行った。地域での介護情報不足を感じた。予防教室を通じてデイサービス利用につながることが出来た方もいた。今後ますます、地域への情報発信の拠点となる必要を感じた。

(12) 実習生・ボランティア受入

教員や介護福祉士、職場体験などの実習生と、傾聴や整容、踊りなどのボランティアの方々の受入も積極的に行なった。ボランティアに対しても、「ありがとう」「またきてね」と声が聞かれ、喜びや楽

しさを与えることができた。次年度はボランティアの受け入れ回数を増やし、利用者の楽しみと社会資源との繋がりも強化したいと考えている。

【実習生・ボランティア受入報告】

種別	学校名	実人数（名）	延日数（日）
教育実習	つくば研究学園専門学校	1	5
	茨城大学	4	20
	常磐大学	2	10
	流通経済大学	1	5
	聖徳大学	1	5
	つくば大学	3	15
介護福祉士	朝日国際専門学校	5	14
	アール医療福祉	2	7
	つくば研究学園専門学校	1	1
職場体験	市役所	4	1
	土浦第四中学校	1	2
合計		25	85

ボランティア名	来園回数(回)
こもれびの会	31
喜和会	1
シルバードリーム	1
フェニックス	1
予科練一座	1
合計	34

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成 29 年度			平成 30 年度		
	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）
4月	58	3	3	55	9	1
5月	61	4	1	55	2	0
6月	62	2	0	57	4	2
7月	58	1	6	59	6	1
8月	59	3	1	64	0	7
9月	59	3	3	60	5	2
10月	61	3	3	61	2	4
11月	58	4	5	58	1	1
12月	57	1	3	59	2	4
1月	52	2	8	57	3	8
2月	58	9	3	55	6	2
3月	60	4	11	56	2	1
合計	703	39	47	691	42	43

(2) 介護度別利用者

	平成 29 年度 (平成 30 年 3 月 31 日現在)		平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)		前年度比	
	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)
要介護度						
支 1	2	3.9	3	5.8	1	1.8
支 2	8	15.7	7	13.7	△1	△2.0
1	18	35.3	19	37.2	1	1.9
2	13	25.5	11	21.5	△2	△4.0
3	7	13.7	8	15.6	1	1.9
4	1	1.9	1	1.9	—	—
5	2	3.9	2	3.9	—	—
介護保険外	0	0.0	0	0.0	—	—
計	51	100	51	100	0	—

(3) 利用者年齢構成

年齢 (歳)	平成 29 年度 (名) (平成 30 年 3 月 31 日現在)		平成 30 年度 (名) (平成 31 年 3 月 31 日現在)		前年度比 (名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	0	1	0	1	—
65～69	1	1	0	1	△1	—
70～74	1	0	1	0	—	—
75～79	2	1	1	2	△1	1
80～84	8	4	5	8	△3	4
85～89	6	15	4	13	△2	△2
90～	2	17	2	34	—	17
男女別合計	20	38	14	42	△6	4
男女比 (%)	34.4	65.5	25.0	75.0	△9.4	9.5
合計	58		56		△2	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（平成31年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
小松	10	千鳥ヶ丘	2	天川	1
霞ヶ岡	8	蓮河原町	2	中村南	1
中高津	7	上高津	2	川口	1
烏山	6	小岩田	1	合計	52
藤崎町	4	桜町	1		
港町	3	下高津	1		
小松ヶ丘	2	永国台	1		
国分町	2	滝田	1		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	8
二中地区	0
三中地区	1
四中地区	31
五中地区	0
六中地区	16
都和中地区	0
新治中地区	0
市外	0
合計	56

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員 4 名（主任介護支援専門員 1 名・常勤 3 名）体制で運営。3 月には人員の入れ替わり常勤 1 名が加わった。業務移行期間となり一時的に 5 名の体制ではあったが、居宅件数には反映されておらず件数の変化はみられていない。

<介護プラン>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	104	102	101	102	103	102	107	106	110	105	101	102	1,245
市外	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	2	1	35
県外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	108	105	104	105	107	106	110	109	113	108	103	103	1,281

年度当初からの依頼はほぼ横ばいではあったが、寒い時期になってくると利用が増加した。

月平均担当数は 104 件であり、市外 3 件、県外 1 件となっている。

<介護予防プラン（包括支援センター委託）>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	25	25	25	25	24	23	24	26	25	25	25	24	296

新規のケースより介護プランから予防プランへの移行またその逆のケースもあり、ほぼ安定した件数の支援となった。月平均 25 件で市外・県外の委託はなかった。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

居宅サービス契約者介護度別延べ件数前年度比

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
H29 年度	140	151	549	409	190	84	55	1,578
H30 年度	124	172	559	334	262	78	48	1,577

当事業所は要支援 1 から要介護 5 までの利用者がいるが、前年度と比較すると総件数はほぼ変わらずではあるが、要支援 1 より要支援 2 が増加、要介護で見ると要介護 3 が増加しており、介護度がやや重くなっている。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	9	8	6	9	5	9	1	9	5	11	5	6	83

認定調査に関して担当者のすべてではないが、土浦市から委託が来るケースが多く、担当者が実施した。上記件数以外でも市役所職員による更新や区分変更時の認定調査に立ち会う場合もあった。

4. その他研修

土浦市医師会事例検討会	
4月	複数医師にかかっている場合の対外的医療・介護業種への窓口一本化の試みと現実
5月	口腔ケアとQOL：口腔ケアの介入のタイミング
3月	自己紹介と事業所紹介（顔の見える関係作り）
土浦ケアマネジャー研究会	
5月	「包括ケア ケアマネージャーの役割」「H30年介護報酬改正のポイント」
7月	土浦市の「在宅医療・介護連携推進事業への取り組みと今後」について
9月	高齢者に起こりやすい骨折とその対応
11月	「土浦市ケアプラン検討委員会の取り組み」～優秀なケアプランの実例～
1月	認知症の理解を深める
3月	わかる事例検討会
法人内研修	
5月	在宅医療・介護連携推進事業と市の取組状況について・事例検討
2月	事業計画に当たり課題抽出 ベストな職場環境をみんなで一緒に考えよう
3月	事業報告書について
土浦・かすみがうら地区会研修会	
5月	土浦市地域交流会&勉強会 「医療と介護の一本化って何？」
	地域医療カンファレンス 「養護者による高齢者虐待対応の流れ」
7月	「施設⇔居宅ケアマネージャーの在り方」 ～シームレスなケアマネジメント～ 医療と介護の連携のための情報交換会（入退院時の情報共有の書式について）
11月	「その人らしい看取りをするためのケアマネジメント力を高める」
	主任介護支援専門員更新研修（全8日間）※3月まで
12月	在宅医療・介護連携拠点事業 市民講演会 「エンドオブライフ・ケア」
	居宅介護支援事業所（特定事業所）研修
1月	認定調査員現任研修会 「認定調査のポイント」「認知症の理解を深める」
	ケアマネジャー向け在宅排尿ケア勉強会 「在宅医療における排尿ケア」
	烏山診療所主催 事例検討会 「在宅生活における支援について」
	消費者教育啓発講座 「最近の消費者トラブルと相談事例見守り活動者と福祉機関等との連携」 「地域で取り組む消費者教育」
2月	極めて活かそう！「課題整理総括表」
	ケアプラン検討委員会 ケース提出
3月	介護支援専門員向け研修 「意思決定支援と権利擁護」
	介護予防支援ケアマネジント業務委託事業委託事業所説明

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（四中地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	82	(2) 緊急通報	12	(3) 配食サービス	15

合計件数が前年度より 115 件より 6 件減少となった。背景には前年までであった啓発事業が特別業務より外れた為、その分の減少である。しかし啓発事業が無くなった後も、地域高齢者クラブとの繋がりは続き、直接依頼があった場合は各地域へ出向き介護予防についての周知活動を行った。（※4. 参照啓発事業・地域づくりセミナーに記載）その際の相談も数件あった。また昨年度に訪問を行った二次予防事業対象者の家族からの相談も多々あり、定期的な台帳の見直しを行っていく事が必要と考えられる。

2. 相談

（方法×続柄集計）

		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務 時間	電話	42	26	16	12	12	7	9	0	121
	来所	5	4	1	0	0	0	0	0	10
	訪問	228	5	9	2	0	0	2	1	247
時間 外	電話	4	2	0	0	0	0	0	0	6
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	10	0	0	0	0	0	0	0	10
合 計		289	37	23	14	12	7	11	1	394

前年度の相談数合計 437 件と比較すると 43 件の減少。

内訳は、電話による相談は 7 件減少、来所による相談は 7 件の増加と業務合計数の変化はない。訪問による相談は 40 件と減っているが、それは今年度より介護予防アウトリーチ事業へ移行し、その際の訪問でニーズキャッチできているものと考えられる。

（相談区分×続柄集計）

	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1) 家族の支援	9	4	0	1	1	0	1	0	16
(2) 介護保険制度	37	7	1	2	3	0	1	0	51
(3) 福祉サービス	213	18	21	7	5	5	8	0	277
(4) 保健・医療	21	4	3	0	2	1	2	0	33
(5) 経済・住まい	9	1	1	0	1	0	0	0	12
(6) 地域の困りごと	3	0	1	1	0	0	0	0	5
(7) その他	55	14	1	5	2	1	1	0	79
(8) 二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) 虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10) ケアマネジャー支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11) 認知症関係	11	4	2	2	0	1	0	0	20
合 計	358	52	30	18	14	8	13	0	493

前年度と比較し「(2) 介護保険制度」「(3) 福祉サービス」の増加する中、「(4) 保健・医療」「(7) その他」は大幅に減少がみられる。これは前年度との事業件数が要因とされる。また市役所や地域包括支援センター等より依頼あり「(6) 地域の困りごと」「(11) 認知症関係」の相談増加がみられる。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数 (回)
(1) ふれあい調整会議	6
(2) スクラムネット	12
(3) その他 (在支連絡調整会議等)	29
合 計	47

ふれあい調整会議・スクラムネットで困難事例のケース検討を行い、様々な職種が集まり、その意見を参考にして解決のための対応を見つけることができた。また今年度より第2層協議体が始まり、積極的に参加し地域課題の把握に努めた。民生児童委員定例会に出席し、地域との連携をより図ることができた。

4. 啓発事業・地域づくりセミナー実施状況

回	日時	地区	場所	テーマ・講師	参加人数
1	4月14日(土) 13:00~14:30	中高津いきいきサロン	中高津公民館	「認知症予防～楽しく脳を『混乱』させる!??～」 在宅介護支援センター：鈴木	14
2	5月19日(土) 13:00~14:30	中高津いきいきサロン	中高津公民館	「スクエアステップ～頭を使って楽しく転倒予防～」 在宅介護支援センター：鈴木	12
3	6月18日(月) 10:00~12:00	天川ふれあい円クラブ	天川公民館	健康講座～認知症予防～・脳トレ 健康増進課：阿部申幸氏 在宅介護支援センター：鈴木	47
4	7月3日(火) 9:30~10:30	小松ヶ丘地区体操教室	小松ヶ丘地区 公民館	「認知症予防～楽しく脳を『混乱』させる!??～」 飛羽ノ園：中島 在宅介護支援センター：鈴木	30
5	11月6日(火) 9:30~10:30	小松ヶ丘地区体操教室	小松ヶ丘地区 公民館	「スクエアステップ～頭を使って楽しく転倒予防～」 スクエアステップ協会 青野昌子氏他2名	25
6	12月4日(火) 9:30~10:30	小松ヶ丘地区体操教室	小松ヶ丘地区 公民館	「スクエアステップ～頭を使って楽しく転倒予防～」 スクエアステップ協会 青野昌子氏他2名	25

7	12月4日(火) 13:30~15:00	永国台はつらつクラブ	永国団地集会所	「スクエアステップ～頭を使って楽しく転倒予防～」 飛羽ノ園：沼田 在宅介護支援センター：鈴木	11
8	12月18日(火) 10:00~11:30	永国むつみ会	永国町公民館	「認知症予防～楽しく脳を「混乱」させる！？～」 飛羽ノ園：戸村 在宅介護支援センター：鈴木	29
9	2月24日(日) 11:00~12:00	千鳥ヶ丘地区松友会	千鳥ヶ丘 公民館	出前講座「地域包括ケアシステム」 高齢福祉課 瀬古沢氏・佐藤氏・海老原氏	17
10	3月9日(土) 13:30~14:30	中高津いきいきサロン	中高津公民館	「スクエアステップ～頭を使って楽しく転倒予防～」 スクエアステップ協会 青野昌子氏他2名	15

今年度の啓発事業は出前講座へ移行であったが、高齢者クラブより飛羽ノ園へ依頼あり10回の開催をした。前年度実施したシナプソロジーやスクエアステップの希望が多く、複数回実施した地域もあった。また高齢福祉課や健康増進課による出前講座を依頼し、講話や体操指導を頂いた。

5. その他

- ・介護予防アウトリーチ事業で地域包括支援センター職員と訪問を行った。訪問しても拒否等あり状況把握が難しく、民生委員と連携することで実態把握することができた。その中で様々な要因があり外出が困難な状況がみえた為、継続的な訪問支援を行った。
- ・高齢者への定期的な見守りを依頼されるケースがある。その背景には家族が遠方だけでなく、同居家族がいても日中不在なこともある。高齢者の増加に伴い、同様のケース増加が見込まれる。
- ・独居高齢者であり地域との関わりが希薄な方への介入が困難な中、関係機関との連携、家族へのアプローチも重要となってくる。
- ・介護保険申請希望が聞かれる中で、サービス利用がなく先々の不安から希望されることが多々ある。これは少子高齢化に伴い身寄りがいない独居高齢者や、親族が高齢で支援が難しい状況から考えられる。
- ・認知症に関する相談が増えている。関われる親族がいても親族だけでの対応が困難な状況にあり、関係機関と連携し対応していく必要性を感じた。

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

施設長 村山 直希

〒300-4117 土浦市高岡2315
TEL 029-829-3030
FAX 029-829-3031
URL <http://showfukai.com>
E-Mail ikoinosato@showfukai.com

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

入居者の尊厳ある生活を保障するために、「自己決定」「今までの暮らしの継続」「残存機能の活用」の視点から入居者一人ひとりの個性と生活リズムに応じて生活できるよう24Hシートを活用し、ユニットケアを行った。しかし、24Hシートの作成や更新が不十分なユニットもあり、24Hシートとケアプランが両輪となったケアを実践するためには、より一層多職種連携を強化する必要性を感じた。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

稼働率は昨年よりも低下している。特養の入居者が退居となった時に長期ショートステイからの入居となるケースがほとんどであり、定期的なショート利用者の登録者の減少が稼働率低下の要因であった。引き続きケアマネジャーへ空き情報のこまめな提供とユニット型ショートステイの強みを周知することはもとより、病院などにも情報提供をすることで中重度の方の受け入れを促進していきたい。

○重点目標：個人の尊厳に配慮した上質なサービスを提供する

人権の尊重について全職員共通認識するための勉強会や研修を通じて身体拘束や虐待防止等について学び、職員間で虐待を容認しない意識づくりをすることができた。また、身体拘束ゼロに向けては車いすからの立ち上がりセンサー等の活用をすることができた。

○重点目標：ユニット間の協力体制強化と職員教育体制の整備

ユニット間の協力体制の整備や異動によりユニット間の協力体制がさらに強くなったと感じられた。新入職員へ介護主任が主体となった教育体制構築は人員の関係上実施できなかったが、今後もユニットリーダーの協力のもと介護主任が主体となった体制を構築し、新入職員の更なる定着率アップにつなげていきたい。

3. 稼働率報告

種 別	ユニット		ショートステイ	
	29年度	30年度	29年度	30年度
年間ベッド数(最大)	25,550	25,550	3,650	3,650
延べ人数	25,384	25,341	2,917	2,760
稼働率(%)	99.4	99.2	80.0	75.6

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1.利用者推移・実数

（1）入居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
入居	1	1	2	0	2	3	2	2	3	1	3	4	24	7
退居	1	1	2	0	2	3	2	3	2	2	3	5	26	9

（2）入居・退居経路

入居経路	ユニット型	退居経路	ユニット型
居宅	14	永眠	22
病院	7	病院	4
老健	1	老健	0
グループホーム	2	居宅	0
合計	24	合計	26
前年度計	17	前年度計	17

（3）要介護度別 ※平成31年3月31日現在

要介護度	性別		人数計（名）	前年度比（名）
	男性	女性		
1	0	0	0	—
2	1	7	8	△1
3	5	18	23	—
4	8	20	28	1
5	2	7	9	△2
合計	16	52	68	△2
平均要介護度	3.6	3.5	3.5	—

（4）年齢構成 ※平成31年3月31日現在

年齢（歳）		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
特養（名）	男性	0	2	1	1	3	6	3	16
	女性	0	0	0	2	6	10	34	52
合計		0	2	1	3	9	16	37	68
前年度		1	0	1	3	8	18	39	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	0	9	23	28	11	71
	延人数	0	270	690	821	319	2,100
5	実人数	0	9	23	29	10	71
	延人数	0	279	713	897	281	2,170
6	実人数	0	8	24	31	9	72
	延人数	0	240	676	914	270	2,100
7	実人数	0	8	24	28	10	70
	延人数	0	248	744	864	310	2,166
8	実人数	0	8	25	28	10	71
	延人数	0	248	768	836	310	2,162
9	実人数	0	9	25	27	12	73
	延人数	0	264	750	749	294	2,057
10	実人数	0	9	25	28	10	72
	延人数	0	279	775	808	295	2,157
11	実人数	0	9	26	28	9	72
	延人数	0	270	737	794	250	2,051
12	実人数	0	10	24	29	9	72
	延人数	0	276	736	868	279	2,159
1	実人数	0	9	23	30	9	71
	延人数	0	279	687	908	273	2,147
2	実人数	0	9	22	31	10	72
	延人数	0	252	615	838	247	1,952
3	実人数	0	9	24	31	9	73
	延人数	0	244	699	898	279	2,120
30年度	実人数	0	106	288	348	118	860
	延人数	0	3,149	8,590	10,195	3,407	25,341
29年度	実人数	10	129	231	337	122	829
	延人数	283	3,917	6,836	10,770	3,593	25,339

前年度に比べ、今年度は退居者数が1.5倍となった。特に3月は1ヶ月で5名と多く、次の入居者を受け入れるまでに時間を要してしまい、稼働率にも響く結果となってしまった。待機者も減少傾向にあるため、営業等にて待機者の増加を目指すとともに、申込者に対し早めに実態調査を実施し、家族・本人と顔合わせをする事で、他施設へ流れないように入居前からの関係作りにも力を入れたい。また、退居者の大多数が施設内での看取りであった。今後も“看取り”ニーズを想定し、更に看取りケアの質を高めていく必要があると感じた。

(6) 短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数	0	0	0	7	3	9	0	19
	延人数	0	0	0	47	23	199	0	269
5	実人数	0	0	1	5	7	11	0	24
	延人数	0	0	2	12	97	161	0	272
6	実人数	0	0	3	6	6	8	0	23
	延人数	0	0	9	18	78	130	0	235
7	実人数	0	0	1	5	6	7	1	20
	延人数	0	0	5	25	92	111	13	246
8	実人数	0	0	2	8	4	6	1	21
	延人数	0	0	21	51	62	89	14	237
9	実人数	0	0	3	5	4	6	1	19
	延人数	0	0	18	17	72	92	12	211
10	実人数	0	0	3	5	4	6	1	19
	延人数	0	0	7	17	67	78	14	183
11	実人数	0	0	3	5	4	3	1	16
	延人数	0	0	43	39	69	38	13	202
12	実人数	0	0	1	7	4	3	1	16
	延人数	0	0	6	93	68	48	16	231
1	実人数	0	0	2	9	3	3	1	18
	延人数	0	0	6	85	67	66	25	249
2	実人数	0	0	1	6	6	1	1	15
	延人数	0	0	3	72	66	24	16	181
3	実人数	0	0	3	6	6	2	1	18
	延人数	0	0	26	80	90	30	18	244
30 年度	実人数	0	0	23	74	57	65	9	228
	延人数	0	0	146	556	851	1,066	141	2,760
29 年度	実人数	0	0	7	52	69	88	5	221
	延人数	0	0	24	384	1,053	1,411	45	2,917

平均稼働率 75.6%と前年度を下回る結果となった。入居希望者の増加と退居者増加の兼ね合いにより、ショートステイ利用開始から入居まで短期間で繋がったことは利用者にとっては良い流れであったと思うが、施設としては入居に繋がったことでショートステイの枠がそっくり空いてしまうこととなった。入居希望者のニーズに応えるとともに、稼働率低下のリスクも念頭に入れ、受け入れ方を整理する必要があると感じた。

2. 医務

(1) MMSE 実施状況

※30点満点中23点以下は認知症の可能性が高いとされている（診断結果は参考）

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	2	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
80~84	男	0	0	1	0	0	1	1	3
	女	0	1	0	1	0	3	1	6
85~89	男	1	1	2	2	0	0	0	6
	女	1	1	1	3	2	1	0	9
90~94	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	3	2	2	2	3	3	2	17
95~	男	0	0	0	2	0	0	0	2
	女	1	1	1	1	2	0	1	7
合計		6	6	7	12	9	12	5	57

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※平成 31 年 3 月 31 日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	2	0	1	3	2	0	4	2	1	3	2
前年度	8	0	0	0	7	1	0	5	3	0	5	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	1	3	2	5	1	0	1	2	0	0	2	1
前年度	0	5	3	6	2	0	3	1	0	0	4	0

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	7	2	1	3	4	3	0	7	3	3	4	3
前年度	6	2	2	4	4	2	0	8	2	3	5	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	1	2	3	6	1	3	2	0	0	3	1	4
前年度	1	3	2	5	3	2	4	0	0	2	2	2

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	4	2	2	2	6	0	2	8	1	4	5
前年度	4	5	1	1	2	7	0	2	8	1	3	6
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	2	2	6	2	1	6	0	0	0	4	1	5
前年度	2	1	7	3	2	5	0	0	0	4	1	5

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	8	1	1	4	3	3	2	5	3	3	4	3
前年度	7	2	1	4	5	1	2	6	2	4	5	1
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	6	2	2	8	0	2	2	3	0	2	1	2
前年度	5	2	3	5	4	1	4	1	0	3	0	2

⑤ひまわり

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	5	2	2	2	5	2	1	5	3	1	5	3
前年度	6	2	2	1	5	4	1	5	4	2	2	6
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	2	3	5	0	4	1	1	0	2	2	3
前年度	1	2	5	3	3	4	2	0	0	1	3	4

⑥ばら

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	4	5	1	2	6	2	0	8	2	1	7	2
前年度	3	6	1	2	6	2	0	8	2	2	5	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	2	6	2	2	6	2	1	1	8	2	5	2
前年度	2	5	3	2	5	3	1	1	8	2	5	3

⑦すいせん

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	5	2	3	1	5	4	0	5	5	0	5	5
前年度	7	1	2	1	6	3	0	6	4	0	6	4

区分	移 乗			寝返り			移動（歩行）			移動（車いす）		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	1	5	5	5	2	3	1	0	0	0	6	3
前年度	1	6	3	7	0	3	1	1	0	0	5	3

⑧コスモス

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	7	1	2	1	5	4	0	7	3	0	7	3
前年度	7	2	4	4	4	2	0	8	2	0	8	2

区分	移 乗			寝返り			移動（歩行）			移動（車いす）		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	1	5	4	6	2	2	1	1	0	3	2	3
前年度	0	4	2	8	1	1	3	1	0	2	1	3

(3) 処置・看護記録集計（ショートステイ含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	20	271
処置	126	173	166	154	151	161	108	119	137	101	91	130	1,617
軟膏・湿布	71	71	71	71	71	71	71	71	70	70	69	69	846
テープ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	71
救急対応	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	2	7
看取り	1	1	1	0	1	3	2	2	2	1	3	5	22

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	合 計
延人数	69	526	17	76	3	6	1,442
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	
延人数	0	3	659	0	7	0	

(5) 入浴実施状況

①あじさい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	59	58	59	73	85	74	79	75	96	83	71	66	878
特浴	15	20	27	35	30	25	34	37	27	33	37	48	368
清拭	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	2	8
合 計	75	78	86	108	115	99	113	115	124	117	108	116	1,254

②りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	66	72	69	71	73	63	55	61	66	56	54	59	765
特浴	16	18	18	17	16	20	27	20	24	23	24	22	251
清拭	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
合 計	82	90	87	88	89	83	8	87	90	79	78	81	1,022

③つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	53	48	52	50	48	52	53	43	43	43	35	29	549
特浴	28	32	28	36	32	30	27	38	49	30	43	45	418
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	81	80	80	86	80	82	80	81	92	73	78	74	967

④カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	76	74	76	78	77	74	74	77	78	74	74	70	902
特浴	9	9	8	9	8	9	9	8	8	8	8	16	109
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	85	83	84	87	85	83	3	85	86	82	82	86	1,011

⑤ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	67	69	72	70	73	69	67	69	72	47	67	70	812
特浴	20	20	20	22	22	22	20	21	22	15	20	22	246
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	87	89	92	92	95	91	87	90	94	62	87	92	1,058

⑥ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	68	70	68	66	71	71	71	72	71	70	68	70	836
特浴	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	84	86	84	82	87	87	87	88	87	86	84	86	1028

⑦すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	46	48	50	43	46	40	43	42	45	39	44	45	531
特浴	32	32	36	45	44	38	45	38	44	40	30	34	458
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
合 計	78	80	86	88	90	78	88	80	89	84	74	79	994

⑧コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	62	63	64	68	60	60	56	58	66	59	55	50	721
特浴	15	16	18	16	21	17	27	23	27	26	24	32	262
清拭	3	3	2	0	5	0	0	0	0	1	0	0	14
合 計	80	82	84	84	86	77	83	81	93	86	79	82	997

安心・安全に入浴できる環境作りを行い、入浴事故はなかった。特浴は看護職員も付き添い、皮膚状態の観察を行うことで、早期発見・早期治療をすることができた。

3. 給食

(1) 平成 30 年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	Mg	mg	mg	Mg	g
目標値	1,632	60	45.3	600	10.0	1.00	1.17	100	7.3
4月	1,598	59.9	40.1	499	8.3	0.79	0.81	90	8.0
5月	1,590	60.3	38.2	498	8.3	0.82	0.81	88	8.0
6月	1,585	60.6	38.6	512	8.4	0.79	0.77	100	8.1
7月	1,595	60.7	39.4	501	8.0	0.82	0.81	91	8.0
8月	1580	60.5	38.6	574	8.3	0.82	0.80	92	7.9
9月	1,607	61.4	40.1	575	8.8	0.79	0.81	88	8.1
10月	1,583	59.7	38.0	599	8.1	0.79	0.79	88	7.9
11月	1,586	59.8	38.8	547	8.6	0.82	0.78	89	7.8
12月	1,583	58.9	38.5	508	8.0	0.82	0.79	84	8.0
1月	1,596	59.8	39.8	511	8.0	0.80	0.78	85	7.9
2月	1,593	60.1	39.9	519	8.2	0.80	0.80	87	8.1
3月	1,593	60.6	38.6	529	8.6	0.77	0.79	87	8.0

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	22,834	25,041	25,283	73,158
ショートステイ	2,435	2,743	2,541	7,719
デイサービス	0	6,599	0	6,599
職員	0	4,470	0	4,470
来客	1	35	0	36
実習生	0	35	0	35
延人数	25,270	38,923	27,824	92,017

②選択食

日時	A	B
5月10日	デミグラスハンバーグ丼	白身魚の甘酢丼

③行事食

1	日時	4月5日	行事名	お花見弁当
	山菜ごはん、清汁、えびフライ、ミートボール、鯖の塩焼き、香の物			
2	日時	5月5日	行事名	端午の節句
	押し寿司、清汁、天麩羅盛り合わせ、いちごヨーグルト			
3	日時	5月21日、22日	行事名	新茶イベント
	新茶、練りきり			
4	日時	5月28日	行事名	かつおのたたき定食
	ごはん、清汁、かつおのたたき、天麩羅の盛り合わせ、フルーツ			
5	日時	6月19日	行事名	スイーツバイキング
	ショートケーキ、チョコレートケーキ、レアチーズケーキ、ロールケーキ、シュークリーム			

	かぼちゃプリン、抹茶ババロア			
6	日 時	7月7日	行事名	七夕
	七夕そうめん、天麩羅、ナスのしょうが醤油和え、すいか、七夕ゼリー			
7	日 時	7月10日	行事名	洋風プレートランチ
	プレートランチ、コンソメスープ、フルーツ			
8	日 時	7月20日	行事名	土用の丑の日
	うな丼、みそ汁、バナナ			
9	日 時	8月13日	行事名	お盆
	赤飯、清汁、天麩羅、青梗菜の桜えび和え、フルーツポンチ			
10	日 時	9月9日	行事名	敬老会
	赤飯、清汁、天麩羅、鶏の照り焼き、刺身、たきあわせ、煮豆、香の物、黒ごまプリン			
11	日 時	9月26日	行事名	中華バイキング
	チャーハン、清汁、海老チリ、油淋鶏、魚の中華あんかけ、白菜と木耳の和え物、杏仁フルーツ			
12	日 時	10月29日	行事名	ハロウィンパーティー
	南瓜プリン、苺ババロア、スイートポテト、フレンチトースト、ピザ蒸しパン、揚げ饅頭、煎餅			
13	日 時	11月12・13・14日	行事名	焼き芋屋台
	焼き芋			
14	日 時	11月23日	行事名	紅葉弁当
	松茸ごはん、清汁、海鮮フライ、たまご焼き、牛肉の炊き合わせ、香の物、フルーツ			
15	日 時	12月9日	行事名	クリスマス会
	ローストチキン、ショートケーキ、フルーツコンポート			
16	日 時	12月24日	行事名	クリスマスデザート
	ベジタブルツリー			
17	日 時	1月1日	行事名	元旦
	赤飯、清汁、鰯の塩麴焼き、お節盛り合わせ、フルーツ			
18	日 時	1月2日	行事名	正月
	海鮮ちらし、味噌汁、白菜の酢味噌かけ、フルーツ			
19	日 時	1月3日	行事名	正月
	いなり寿司、清汁、天ぷら、筑前煮、フルーツ			
20	日 時	2月3日	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、いわしの蒲焼、小松菜とあさりの煮びたし、フルーツ、とら色水ようかん			
21	日 時	2月14日	行事名	バレンタインデー
	バレンタインプリン			
22	日 時	2月21日	行事名	お寿司御膳
	握り寿司、清汁、天ぷら、茶碗蒸し			
23	日 時	3月3日	行事名	ひな祭り
	桜ちらし、あさり汁、蓮根金平、ふわふわ桃ムース、ひな饅頭、甘酒			
24	日 時	3月23日	行事名	プレートランチ
	チャーハン、たまごスープ、油淋鶏、海老チリ			

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	20	24	30	22	17	21	18	21	32	27	20	25	277

《考察》

毎月の行事会の実現、入居者の嗜好を考慮したメニューの提案、個別対応にて栄養状態の維持に努めることが出来た。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居(名)	7	12	18	14	8	10	6	12	20	13	6	7	133
SS(名)	13	12	12	8	9	11	12	9	12	14	14	18	144

※開催合計 277 回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	5	2	3	2	4	3	3	3	2	0	2	1	30

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

①委員会

1	褥瘡予防委員会	他職種間で、褥瘡の原因から改善に向けての話し合いが出来た。次年度も毎月会議を開催し、褥瘡ゼロを目指し努めたい。
2	身体拘束廃止委員会	会議を定期的に行うことが出来た。また身体拘束ゼロに向け来年度も継続して行っていくよう努める。
3	衛生委員会	ストレスチェック・腰痛検査は例年通り実施できた。また、負担の少ない介助方法等についても随時検討し対応することができた。今後はより安全に働ける環境作りを目指し、安全性という視点から環境の見直しを行っていきたい。
4	感染予防委員会	感染症が蔓延することなく、多職種連携し最小限にとどめられた。また勉強会も開き全職員に周知することができた。
5	入居検討委員会	入居申込者について公平に検討することができた。次年度は現場の主任も参加出来るよう配慮し、開催していきたい。
6	災害安全委員会	毎月避難訓練を行う事ができた。今年度は委員会メンバー入れ替えが多かったなかでスムーズな活動が出来た。
7	安全管理委員会	ユニット会議の中で、ヒヤリハットの内容について話し合い職員間で内容の共有をし、原因から改善に向けての話し合いをすることが出来た。リーダー会議でもユニット間を越えた話し合いをすることにより情報の共有や改善に向けた話し合いが出来た。
8	物品購入委員会	GW や年末年始など、まとめて物品を発注する際に多く頼みすぎてしまい、

		物品が余ってしまうことがあった。来年度は在庫の管理を徹底し、過剰な発注をしないよう努めたい。
9	給食委員会	毎月の会議で厨房と意見交換ができた。利用者の声を提供する側に伝えることにより、改善点や今後も継続してほしいことなどを具体的に話し合うことが出来た。

②クラブ活動

1	書道クラブ	季節ごとの開催を目指したが、職員数の確保が出来ず開催できなかった。書道を楽しみにしてくれる利用者もいるため、今後はユニット単位での小規模開催をするものとし、楽しんで頂ける様にしたい。
2	華道クラブ	クラブを開催することにより、利用者楽しんでいただくことが出来た。次年度は、回数を増やし、利用者施設での生活をより一層楽しんでいただけるようにしたい。

(2) 全体行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
7	29	納涼祭	77	29	89	195
9	9	敬老祝賀会	74	29	70	173
10	3	日帰り旅行	13	16	2	31
12	9	クリスマス会	78	28	40	146
1	3	正月式	73	18	0	91

(3) ユニット行事

①あじさい

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
5月6日	しおりカフェ	あじさい	7	2	0	9
5月13日	母の日	あじさい	6	2	0	8
5月27日	書道クラブ	地域交流スペース	2	0	0	2
6月17日	父の日	あじさい	3	2	0	5
6月24日	かきあげ作り	あじさい	6	2	0	8
7月3日	社交ダンスボラ	地域交流スペース	7	1	0	8
7月18日	誕生会	あじさい	8	4	0	12
7月22日	山車見学	玄関前	6	2	0	8
7月29日	納涼祭	地域交流スペース	7	5	0	12
8月26日	フルーチェ作り	あじさい	9	2	0	11
9月9日	敬老祝賀会	地域交流スペース	7	3	0	10
10月22日	誕生会	あじさい	5	2	0	7
12月9日	クリスマス会	地域交流スペース	8	4	0	12
12月23日	しおりカフェ	あじさい	6	1	0	7
1月3日	正月式	地域交流スペース	6	1	0	7
2月10日	しおりカフェ	あじさい	5	2	0	7
3月15日	誕生会	あじさい	8	1	0	9

②りんどう

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月18日	日本舞踊	交流センター	5	0	0	5
4月20日	風船バレー	りんどうユニット	7	1	0	8
4月21日	風船バレー	りんどうユニット	6	2	0	8
4月26日	散歩	施設周辺	5	3	0	8
5月3日	カラオケ	りんどうユニット	5	2	0	7
5月10日	セレクト食	りんどうユニット	10	3	0	13
5月13日	母の日会	りんどうユニット	9	3	0	12
5月21日	BBQ	中庭	10	4	0	14
5月24日	カラオケ・リハ体操	りんどうユニット	7	2	0	9
5月27日	書道クラブ	地域交流スペース	2	1	0	3
6月3日	リハ体操	りんどうユニット	7	1	0	8
6月10日	カラオケ	談話コーナー	8	2	0	10
6月13日	風船バレー	りんどうユニット	7	2	0	9
6月17日	父の日会	りんどうユニット	9	2	0	11
6月19日	ケーキバイキング	談話コーナー	10	2	0	12
6月21日	風船バレー	りんどうユニット	8	1	0	9
6月24日	カラオケ	りんどうユニット	4	1	0	5
7月3日	社交ダンス	地域交流スペース	1	0	0	1
7月7日	七夕	りんどうユニット	9	2	0	11
7月21日	落語会	地域交流スペース	3	1	0	4
7月22日	カラオケ	りんどうユニット	4	1	0	5
7月22日	山車見学	玄関前	5	1	0	6
7月29日	納涼祭	地域交流スペース	10	3	0	13
8月8日	ピアガーデン	陽だまりサロン	1	0	0	1
8月11日	体操	談話コーナー	10	2	0	12
8月27日	NHK体操	りんどうユニット	4	1	0	5
9月9日	敬老祝賀会	地域交流スペース	10	3	0	13
9月22日	体操	談話コーナー	9	2	0	11
9月25日	誕生日会	りんどうユニット	9	2	0	11
10月20日	体操	談話コーナー	7	1	0	8
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12
1月26日	誕生会	りんどうユニット	10	3	0	13
2月3日	豆まき	りんどうユニット	9	2	0	11
3月20日	おやつ作り	りんどうユニット	10	3	0	13

③つつじ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月18日	日舞ボランティア	地域交流スペース	1	0	0	1
4月20日	春デザート	カンナユニット	19	5	0	24
5月18日	いなり・天麩羅	カンナユニット	10	7	0	17

5月27日	書道クラブ	デイスペース	1	0	0	1
6月4日	新じゃが	つつじユニット	10	2	0	12
6月27日	華道クラブ	陽だまりサロン	1	6	0	7
7月15日	誕生会	つつじユニット	4	2	0	6
7月22日	藤沢まつり	玄関前	2	1	0	3
7月29日	納涼祭	地域交流スペース	10	3	0	13
9月9日	敬老会	地域交流スペース	9	4	0	13
10月3日	バス旅行	東京	1	1	0	2
12月9日	クリスマス会	地域交流スペース	10	6	0	16
12月13日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13
12月20日	出前食	つつじユニット	10	4	0	14
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	3	0	13
1月11日	おしるこ作り	つつじユニット	10	2	0	12
1月27日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13
2月15日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13
3月8日	誕生会	つつじユニット	10	3	0	13

④カンナ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
5月14日	外食ドライブ	土浦イオン	4	4	0	8
5月18日	いなり・天ぷら	カンナユニット	20	7	0	27
6月25日	お好み焼き	カンナユニット	10	4	0	14
8月19日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
9月26日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
10月19日	買い物ドライブ	土浦イオン	3	3	0	6
11月14日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
2月15日	誕生会	カンナユニット	10	3	0	13
3月20日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12

⑤ひまわり

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月25日	どら焼き作り	ひまわりユニット	10	3	0	13
5月12日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0	13
5月26日	外出	さんあびお	2	2	0	4
6月1日	あんみつ作り	ひまわりユニット	10	3	0	13
6月6日	誕生会	ひまわりユニット	10	4	0	14
7月11日	スイカ割り	ひまわりユニット	10	4	0	14
7月19日	そうめん	ひまわりユニット	10	3	0	13
7月25日	ひまわり・ばら誕生会	ばらユニット	18	5	0	23
7月29日	納涼祭	全体	10	4	0	14
8月8日	ピアガーデン	陽だまりサロン	2	4	0	6
8月25日	お茶会	ばらユニット	19	4	0	23
9月9日	敬老会	地域交流スペース	9	4	0	13

9月21日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0	13
10月1日	外食会	土浦イオン	3	3	0	6
10月3日	日帰り旅行	品川水族館	1	1	0	2
11月8日	誕生会	ひまわりユニット	9	3	0	12
11月13日	出前食	ひまわりユニット	9	3	0	12
12月9日	クリスマス会	地域交流スペース	10	3	0	13
12月24日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0	13
1月3日	正月式	地域交流スペース	7	1	4	12
1月21日	誕生会	ひまわりユニット	7	2	0	9
2月23日	おやつ作り	ひまわりユニット	7	2	0	9
3月16日	出前食	ひまわりユニット	8	3	0	11

⑥ばら

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月8日	お花見散歩	高岡保育園	10	3	0	13
5月13日	たこ焼き作り	ばらユニット	10	3	0	13
6月20日	出前食	ばらユニット	10	3	0	13
7月11日	すいか割り	ひまわりユニット	10	2	0	12
7月25日	誕生日会	ばらユニット	10	2	0	12
7月29日	納涼祭	地域交流スペース	10	4	0	14
8月8日	ピアガーデン	陽だまりサロン	2	2	0	4
8月25日	お茶会	ばらユニット	10	3	0	13
9月9日	敬老会	地域交流スペース	9	4	0	13
10月3日	日帰り旅行	品川水族館	1	2	0	3
10月21日	誕生会	ばらユニット	10	3	0	13
11月23日	誕生会	ばらユニット	10	2	0	12
12月9日	クリスマス会	地域交流スペース	10	3	0	13
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12
2月24日	誕生会	ばらユニット	10	2	0	12
3月24日	誕生会	ばらユニット	10	2	0	12

⑦すいせん

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月7日	花見ドライブ	市内	6	3	0	3
5月14日	新茶イベント	すいせん	10	2	0	12
5月15日	母の日会	すいせん	10	2	0	12
6月19日	スイーツバイキング	ひだまりサロン	10	2	0	12
7月22日	しおりカフェ	すいせん	10	2	0	12
7月22日	山車見学	玄関前	4	1	0	5
8月8日	ピアガーデン	ひだまりサロン	4	3	0	7
8月15日	スイカ割り	すいせん	9	3	0	12
9月1日	しおりカフェ	すいせん	10	3	0	13
9月9日	敬老会	デイサービス	10	4	8	22

9月19日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
9月26日	中華バイキング	すいせんユニット	10	2	0	12
10月3日	日帰り旅行	東京品川	2	2	1	5
10月21日	しおりカフェ	すいせんユニット	10	2	0	12
10月28日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
11月10日	紅葉ドライブ	すいせんユニット	2	2	0	4
12月19日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
1月13日	しおりカフェ	すいせんユニット	10	3	0	13
1月20日	誕生会	すいせんユニット	10	3	0	13
2月10日	誕生会	すいせんユニット	10	3	0	13
3月3日	しおりカフェ	すいせんユニット	10	2	0	12
3月5日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12

⑧コスモス

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月30日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
5月19日	お好み焼き	コスモスユニット	10	4	0	14
6月17日	おやつ作り	コスモスユニット	8	3	0	11
6月20日	父の日外食	土浦イオン	1	2	0	3
6月25日	誕生会	コスモスユニット	10	3	0	13
7月3日	社交ダンス見学	地域交流スペース	2	1	0	3
7月8日	しおりカフェ	コスモスユニット	10	3	0	13
7月18日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
7月29日	納涼祭	地域交流スペース	10	4	5	19
8月6日	スイカ割り	コスモスユニット	10	2	0	12
8月18日	誕生会	コスモスユニット	10	3	0	13
9月9日	敬老祝賀会	地域交流スペース	10	3	4	17
9月30日	団子作り	コスモスユニット	10	2	0	12
10月3日	旅行	水族館	2	1	0	3
10月31日	運動会	コスモスユニット	10	3	0	13
11月24日	おやつ作り	コスモスユニット	10	2	0	12
12月9日	クリスマス会	コスモスユニット	10	3	4	17
12月30日	なべパーティー	コスモスユニット	10	2	0	12
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	3	0	13
1月25日	誕生会	コスモスユニット	10	3	0	13
2月17日	しおりカフェ	コスモスユニット	10	3	0	13
2月26日	おやつ作り	コスモスユニット	10	3	0	13
3月24日	おやつ作り	コスモスユニット	10	3	0	13

6. 研修

(1) 内部研修報告

施設全体研修 19:00～19:30

実施日	内容（対象者）	参加人数（名）
4月2日	平成30年度事業計画書（全職員）	46
5月1日	在宅介護支援センターの役割と施設ケアマネジャーの業務内容について	45
6月1日	食中毒（全職員）	46
7月2日	外部講師（介護ロボットについて）	45
8月1日	身体拘束について	43
9月3日	高齢者の緊急時の対応	45
10月1日	感染予防について	41
11月1日	認知症ケアについて	50
12月3日	外部講師を招いての勉強会	42
1月7日	褥瘡予防について	48
2月1日	看取り介護について	46
3月1日	今年度の反省と次年度の課題	43
	合計	540

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数
ヘルシーフードショー2018	4月7日	栄養士	医療用介護食品について	1
認知症実践リーダー研修	4.5月	介護職員	組織におけるリーダーシップについて	1
医療・介護の連携	5月7日	ケアマネジャー	他職種連携における主任ケアマネジャーの役割	1
土浦地区栄養士・調理師 給食研究会	5月17日	栄養士	事業報告及び決算	1
助成金申請説明会	5月28日	施設長	公的支援制度	1
いばらき介護職員合同入職式	5月31日	介護職員	魅力ある職場づくりのための取り組み事例発表等	3
茨城県栄養士会福祉研究会	6月13日	栄養士	食物アレルギー及びアレルギー疾患について	1
身元保証人の必要性和役割について	6月15日	ケアマネジャー	高齢者・障害者の身元保証と生活支援とは？	1
茨城県社会福祉施設経営者協議会	6月19日	施設長	定期総会	1
社会福祉施設新任職員研修	6月28・29日	介護職員	福祉制度の動向について	1
人材雇用研修	8月7日	施設長	人材雇用について	1
介護支援専門更新研修	8月24日	ケアマネジャー	介護保険制度について	1
喀痰吸引研修	8月27日	介護職員	喀痰吸引について	1
メンタルヘルスケア研修	8月28日	介護職員	安心して働くためのコミュニケーション技術	1
リスクマネジメント研修	9月5日	介護職員	リスクマネジメントについて	1
平成30年度広報研修	9月10日	相談員	人が集まる企画とチラシの作り方	2
安全運転管理者講習	9月11日	施設長	安全運転管理者の責務	1
認知症介護アドバイザー養成研修	9月13日	介護職員	認知症サポーターについて	1
相談員・施設介護支援専門員研修会	9月26日	相談員	相談援助職に求められる説明力	1
職場内研修担当養成研修	10月9日	介護職員	リスクマネジメント	1
接遇、コミュニケーション向上研修	10月17日	介護職員	コミュニケーション技術向上について	1
健康経営研修	10月19日	施設長	健康経営とは？	1

中堅者職員研修参加	10月30日	介護職員	組織と中堅職員の役割について	1
給食研究会合同研修会	10月31日	栄養士	栄養補助食品について	1
ビギナーズ研修	10月10・11日	介護職員	認知症について	1
ケアの科学と創造的福祉実践について	11月3日	施設長 ケアマネジャー	福祉と建築 知る・つながる・やってみる	2
会計研修	11月7日	施設長	社会福祉法人会計について	1
個別ケアとケアプランについての研修会	11月9日	介護職員	個別ケア、ケアプランについて	1
身体拘束廃止研修	11月27日	相談員	身体拘束廃止について	1
看護実務者研修	11月28日	看護職員	身体拘束とリスクマネジメントについて	1
人事管理研修	11月30日	施設長	魅力ある職場づくりについて	1
リスクマネジメント研修	12月7日	介護職員	リスクマネジメントについて	1
メンタルタフネス講座	12月12日	介護職員	認知症の方の心理と行動について	1
考課者研修	1月18日	介護職員	人事評価について	1
ユニットリーダー研修	1月21日	介護職員	ユニットリーダーについて	1
土浦地区給食研究会	2月13日	栄養士	災害時の施設管理について	1
メンタルタフネス講座	2月18日	介護職員	ハラスメントについて	1
合計				42

今年度も多くの研修に参加することが出来たが、研修に行く職種にやや偏りがあった。来年度は多くの職員が満遍なく研修に参加し、他施設の職員との意見交換や情報交換が出来るよう工夫していきたい。

7. 実習生受入れ

(1) 学校別集計（デイサービスを含む）

学校名	実習月	日数	人数	延日数
御茶ノ水女子大学	9月	5	1	5
日本工業大学	8月	5	1	5
		10	2	10

(2) 実習種別集計（デイサービス含まず）

① 介護職員初任者研修

受け入れ期間	実人数	延日数
10月～12月	2	6

② 介護等体験（茨城県社会福祉協議会より）

受け入れ期間	実人数	延日数
4月～6月	0	0
7月～9月	4	20
10月～12月	0	0
1月～3月	0	0

感染症対策もあり、下半期の受け入れが難しかったので上半期の受け入れを増やすなどの工夫が必要だった。

8. ボランティアの受け入れ

(1) 介護相談員活動実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

(2) ボランティア受入

ボランティア名	回数	総人数	ボランティア名	回数	総人数
日本舞踊	1	2	落語	1	1
繕い物	5	32	社交ダンス	1	2
踊り（納涼祭）	1	10	フランスベッド（納涼祭）	1	2
茨城リネンサプライ（納涼祭）	1	2	合計	11	51

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

今年度は介護予防通所介護事業が廃止され、本格的に「土浦市介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行した年となった。また、介護保険法の改正もあり、当事業所においても改正に伴う行政関係の事務手続きや利用者・家族への説明・サービス提供等においては大きなトラブルもなく、スムーズに移行することができた。

その他、開所当時より使用していたテレビ・カラオケ機器を入れ替えを行い、新規導入したエルダーシステム（カラオケ機器）のコンテンツを活用することで新しいりハビリを効率よく実施することができた。また、「おとなの学校」をレクリエーションの時間に提供したが「懐かしさ」「生涯学習の重要性」等、改めてその大切さを知るきっかけとなり利用者からも好評であった。

処遇面では特殊浴槽での入浴を希望される利用者を受入したが、職員同士で協力し事故なく受入体制を整えることができた。今後も多様化するニーズに柔軟に対応できるよう、引き続き事業所としての体制を整える。

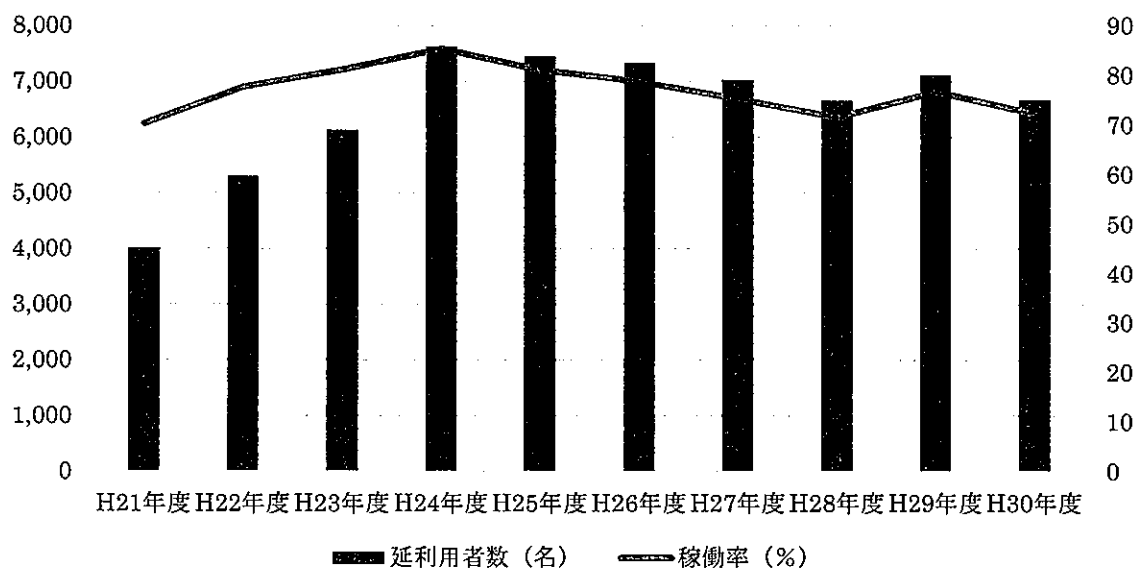
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数（日）		25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308
実人数（名）		61	61	62	59	53	57	58	60	57	55	53	55	691
延人数（名）		593	638	600	587	554	546	573	565	547	481	479	506	6,669
平成 29年度	平均利用者数（名）	23.1	23.3	23.0	24.1	23.0	23.2	23.2	22.7	22.7	21.9	23.3	22.8	23.0
	稼働率（%）	77.0	77.7	76.7	80.3	76.7	77.3	77.3	75.7	75.7	73.0	77.7	75.9	76.7
平成 30年度	平均利用者数（名）	23.7	23.6	23.1	22.6	20.5	21.8	21.2	21.7	21.9	20.0	20.0	19.5	21.6
	稼働率（%）	79.0	78.7	77.0	75.3	68.3	72.7	70.7	72.3	73.0	66.7	66.7	65.0	72.1
稼働率（%） 前年度比		2.0	1.0	0.3	△5.0	△8.4	△4.6	△6.6	△3.4	△2.7	△6.3	△11.0	△10.9	△4.6

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数（名）・稼働率（％）



	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延利用者数(名)	4,001	5,296	6,123	7,616	7,438
稼働率(%)	70.2	77.6	81.1	85.3	81.0
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
延利用者数(名)	7,316	7,016	6,649	7,112	6,669
稼働率(%)	78.7	75.2	71.5	76.7	72.3

(3) 介護度別利用状況

要介護度	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度比	
	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)
事業対象者	9	0.1	9	0.1	—	—
支 1	93	1.3	163	2.4	70	1.1
支 2	323	4.5	267	4.0	△56	△0.5
1	1,885	26.5	1,827	27.4	△58	0.9
2	2,565	36.1	2,978	44.7	413	8.6
3	1,390	19.6	788	11.8	△602	△7.8
4	663	9.3	482	7.3	△181	△2.0
5	181	2.6	155	2.3	△26	△0.3
介護保険外	0	0.0	0	0.0	—	—
計	7,109	100	6,669	100	△440	—

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

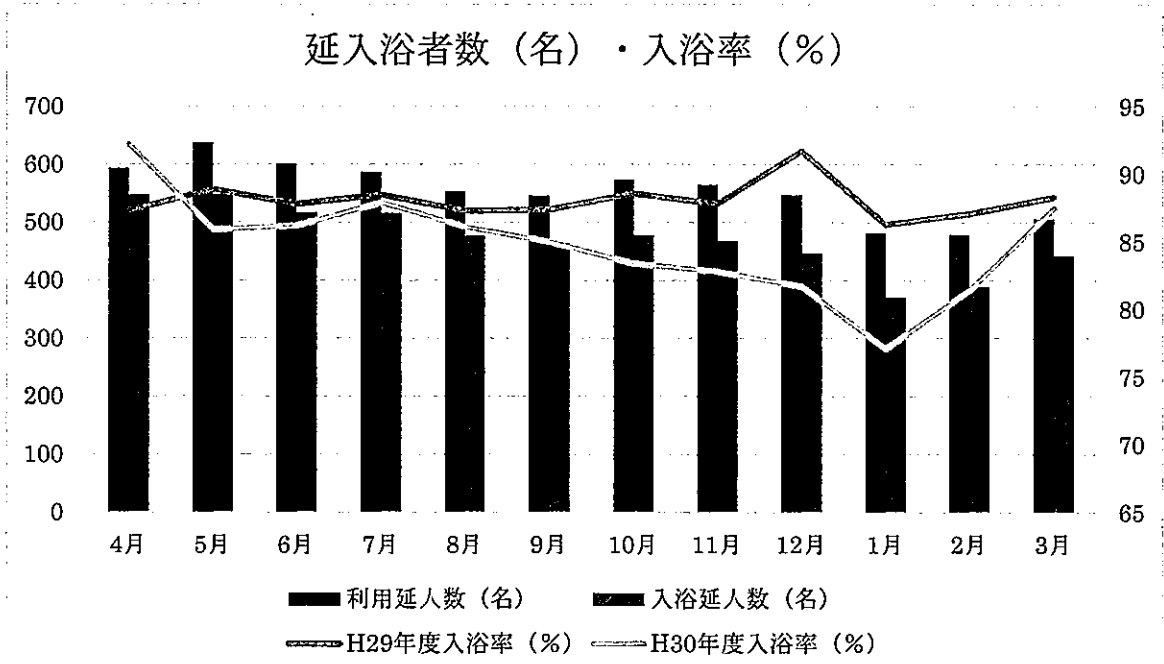
利用者はもちろん、家族・ケアマネジャーからの要望や意見を活かして細かな部分まで対応することができた。内部研修等を通してスキルアップや他デイサービスでの取組などを知り、質の向上に努めた。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

社会交流・健康管理・清潔保持・機能訓練・介護負担軽減など多様なニーズへの対応、また「利用者が今必要としているサービス」をタイムリーに提供するため、アセスメントをはじめ、プランの作成・実施・評価・見直しを行なった。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

バイタルチェックをもとに他職員と連携し、安全に入浴ができるように努めた。入浴メインで利用されている方もいる。バイタルの数値が良くない方などへの声掛けや対応の方法を看護師と連携し、今後そういった方が気持ちよく安心して入浴できるよう体制を整えた。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数（名）	593	638	600	587	554	546	573	565	547	481	479	506	6,669	
入浴延人数（名）	547	548	517	516	477	464	478	468	447	371	390	443	5,666	
入浴率（％）	平成29年度	87.3	88.9	87.8	88.5	87.3	87.4	88.6	87.8	91.7	86.3	87.1	88.3	88.1
	平成30年度	92.2	85.9	86.2	87.9	86.1	85.0	83.4	82.8	81.7	77.1	81.4	87.5	84.8
前年度比（％）	4.9	△3.0	△1.6	△0.6	△1.2	△2.4	△5.2	△5.0	△10.0	△9.2	△5.7	△0.8	△3.3	

(4) 食事サービス

利用者個々の身体の状況・状態、ニーズなどに合わせた治療食・嗜好食・食事形態・食事介助方法など随時職員同士話し合い、また厨房との連携を図ることで対応できた。その他、甘味ドライブなどの外食をはじめ、「いつもと違う」楽しみのある食事の提供も積極的に行なった。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者のプライバシー保護とトイレでの排泄を基本とし、利用者個々の性格・状況・状態などに合わせ定時・随時の声掛けやトイレ誘導を行なった。また、トイレでの排泄が困難な利用者には排泄パターンを把握することで利用者の身体的負担を軽減できるような排泄介助（オムツ交換・尿瓶使用等）を実施した。

(6) レクリエーション・行事

レクリエーションは新しい物を取り入れ、利用者が飽きないように工夫した。また、お花見ドライブやクリスマス会などの季節行事を通して「食の楽しみ」や四季を感じながら楽しく活動できる時間・機会を提供できたように感じる。

【レクリエーション実施状況（回数）】

ボウリング	13	お手玉カーリング	4	蹴ってカーリング!	2
魚釣り	15	玉入れ	3	タオルでポン!	1
マキマキ	13	お花摘みゲーム	3	射的	3
ビー玉ストロー	11	物干しゲーム	5	紅白カルタ	9
豆取りゲーム	5	色合わせゲーム	11	スリッパ飛ばし	4
くつつきの当て	12	カラオケ	12	ジェスチャーゲーム	1
漢字クイズ	10	カルタ	4	豆つかみ	6
新聞ちぎり	9	牛乳つむつむ	6	ボール流し	2
紙飛行機飛ばし	12	パッと漢字探し	1	ボール送り	2
お手玉のせ	15	穴埋め四字熟語	1	しりとり	2
輪投げ	9	サッカーゲーム	3	黒ひげ一髪	1
バクダン	10	輪おくり	6	単語組み立て	1
ドミノ倒し	4	金魚すくい	1	連想ゲーム	1
おとなの学校	34			計 40 種類	267

【行事実施状況（日数）】

お花見&甘味ドライブ	9	クリスマス会	2	豆まき	1
夏祭り	2	もちつき	1	ひな祭り	1
運動会	1	初詣ドライブ	6	誕生会	20
				計 9 種類	43

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防事業）サービス

本人・家族・ケアマネジャーの希望がある場合には、OT（作業療法士）勤務日に合わせた追加利用・利用日変更を通して OT と直接相談できる機会を提供した。また、午前・午後の体操の時間や内容の見直しを行ない体操自体の充実を図った。その他、外出行事を「普段とは違った機能訓練」と位置づけ、外出する機会を多く作ることで楽しく・気持ち良く・体を動かせる場を提供した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練(名)	456	471	451	428	419	410	409	376	382	327	324	361	4,814
運動器機能(名)	32	35	31	37	22	25	30	31	29	31	35	35	373
合計	488	506	482	465	441	435	439	407	411	358	359	396	5,187

(8) 送迎サービス

利用者個々の希望や身体状況に合わせて時間・ルート・順序・送迎車両の選択などに配慮した。乗降時の乗り降りのしやすさ・安全性の向上などにより、より安全で効率的な送迎が実施できるようになった。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	558 (35)	577 (61)	537 (63)	519 (67)	497 (57)	470 (76)	498 (75)	499 (66)	475 (72)	430 (51)	447 (32)	472 (33)	5,979 (688)
送り (減算)	575 (17)	616 (22)	584 (16)	565 (22)	542 (12)	534 (12)	553 (20)	552 (13)	542 (5)	474 (6)	469 (10)	490 (16)	6,496 (171)
延回数 (減算)	1,133 (52)	1,193 (83)	1,121 (79)	1,084 (89)	1,039 (69)	1,004 (88)	1,051 (95)	1,051 (79)	1,017 (77)	904 (57)	916 (42)	962 (49)	12,475 (859)

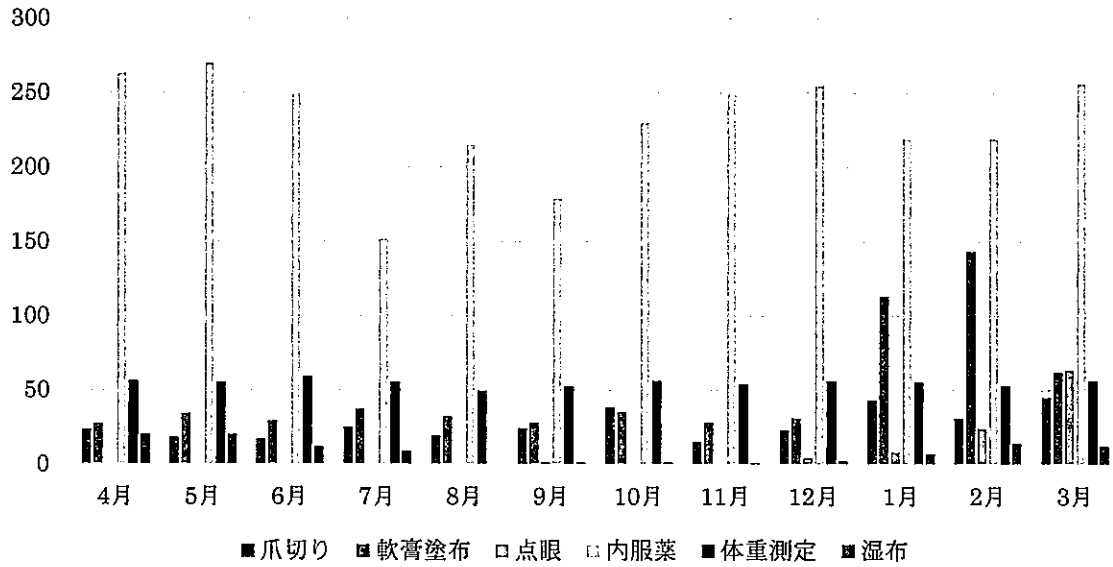
【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	919	953	862	905	763	683	787	860	883	895	827	964	10,301
ヴォクシー	736	791	714	730	782	658	761	645	775	558	684	764	8,598
ブレマシー	614	729	649	734	684	555	461	407	470	418	493	513	6,727
シエンタ	750	854	654	810	868	772	742	819	881	878	812	878	9,718
ハイゼット	999	994	802	731	678	697	727	724	710	793	674	789	9,318
タント	1,021	1,087	819	951	1,100	923	749	776	920	661	720	874	10,601
合計	5,039	5,408	4,500	4,861	4,875	4,288	4,227	4,231	4,639	4,203	4,210	4,782	55,263

(9) 看護報告(処置集計報告)

利用者本人への声掛けによる体調確認やバイタルチェックをすることで個々の体調を把握して利用者に合わせて負担にならないようにサービスを提供できた。利用者の希望に応じて軟膏塗布・湿布貼付・点眼・内服薬の管理を行った。爪切りや耳かきも本人・家族では行えない方や希望される方に実施した。口腔ケアに対しては来所時と食後に実施し、清潔保持・感染予防・誤嚥による肺炎予防に努めた。突然の体調不良時などは家族・ケアマネジャーに連絡し迅速な対応ができた。

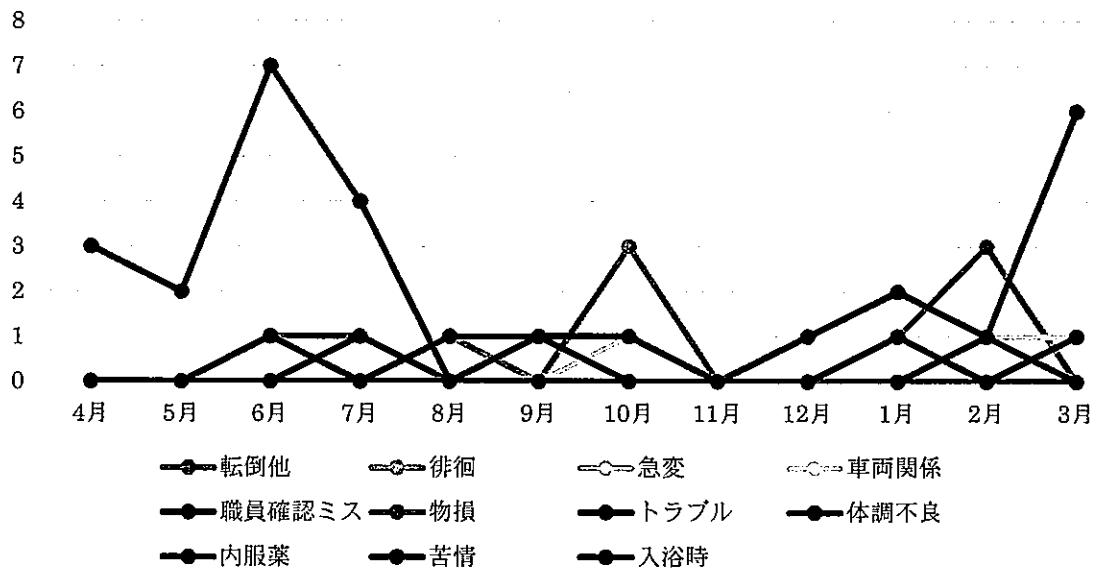
処置集計 (回)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	23	18	17	25	19	24	38	15	23	43	31	45	321
軟膏塗布	27	34	29	37	32	28	35	28	31	113	143	62	599
点眼	0	0	0	0	0	1	0	0	4	8	24	63	100
内服薬	263	270	249	152	215	179	230	249	255	219	219	256	2,756
体重測定	56	55	59	55	49	52	56	54	56	55	53	56	656
湿布	20	20	12	9	0	1	1	1	2	7	14	12	99
合計	389	397	366	278	315	285	360	347	371	445	484	494	4,531

(10) ヒヤリハット報告

アクシデント・インシデント・トラブル報告 (件)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒・ずり落ち	0	0	1	1	0	0	3	0	0	1	3	0	9
トラブル	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
徘徊	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
車の物損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3
内服薬	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
備品・物損	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
職員確認ミス	3	2	7	4	0	1	1	0	1	2	1	6	28
苦情	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入浴時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	10	7	2	2	5	0	1	4	6	9	51

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

デイサービスとして具体的な活動はできなかったが送迎時等にお会いする地域の方々とは良好な関係性が保てるよう努めている。今後は積極性を持って活動していきたい。

(12) 実習生・ボランティア受入

実習生・ボランティアの方々の受入も積極的に行なった。利用者からは「新鮮な感覚」「満足の声」等が聞かれた。今後は新規・新しいジャンルのボランティアの開拓をはじめ、引き続き積極的な受入を行う。

【実習生・ボランティア受入報告】

種別	学校名	実人数（名）	延日数（日）
教育実習	文教大学	1	5
	日本大学	1	5
	同志社大学	1	5
	茨城大学	1	5
	筑波大学	7	35
合計		11	55

ボランティア名	来園回数(回)
繕い物	1
日舞	1
社交ダンス	1
合計	3

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成 29 年度			平成 30 年度		
	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)
4 月	71	3	3	65	6	0
5 月	69	1	2	67	2	1
6 月	70	3	0	69	3	1
7 月	68	0	6	70	0	1
8 月	65	2	3	69	1	11
9 月	66	3	0	61	5	1
10 月	64	1	3	63	3	2
11 月	64	2	5	64	4	1
12 月	67	6	4	67	1	1
1 月	66	4	1	60	0	2
2 月	70	4	0	58	1	0
3 月	64	2	12	59	1	0
合計	804	31	39	772	27	28

(2) 介護度別利用者

	平成 29 年度 (平成 30 年 3 月 31 日現在)		平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)		前年度比	
	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)
要介護度						
支 1	2	3.4	4	7.3	2	3.9
支 2	2	3.4	3	5.5	1	2.1
1	20	33.9	12	21.8	△8	△12.1
2	22	37.3	24	43.6	2	6.3
3	10	16.9	7	12.7	△3	△4.2
4	2	3.4	4	7.3	2	3.9
5	1	1.7	1	1.8	—	0.1
介護保険外	0	0.0	0	0.0	—	—
計	59	100	55	100	△4	—

(3) 利用者年齢構成

年齢 (歳)	平成 29 年度 (名) (平成 30 年 3 月 31 日現在)		平成 30 年度 (名) (平成 31 年 3 月 31 日現在)		前年度比 (名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	1	1	0	1	△1	—
65～69	0	1	0	0	—	△1
70～74	1	1	1	1	—	—

75～79	2	3	1	1	△1	△2
80～84	0	14	1	9	1	△5
85～89	3	18	1	19	△2	1
90～	4	14	2	23	△2	9
男女別合計	11	52	6	54	△5	1
男女比(%)	17.5	82.5	10.0	90.0	△7.5	7.5
合計	63		60		△3	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（平成31年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	10	大畑	4	中貫	3
本郷	1	上坂田	5	小山崎	1
田宮	2	並木	2	中央	1
高岡	6	都和	1	市外	9
小高	3	田土部	2	合計	60
下坂田	3	永井	1		
藤沢新田	1	真鍋	1		
大志戸	2	沢辺	2		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	2
二中地区	0
三中地区	0
四中地区	0
五中地区	0
六中地区	0
都和中地区	6
新治中地区	43
市外	9
合計	60

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員 2 名（兼務含む）で運営してきたが、6 月から人事異動により 1 名体制、1 月には 1 名退職により新任介護支援専門員が入職し、2 月より管理者兼務の 1 名体制で事業運営を行った。適宜施設長に相談、報告行い事業運営を行ってきた。新規利用者獲得や地域を知るために、病院の地域連携室や事業所訪問、外部研修にも積極的に参加してきた。

又、利用者の状態に応じて主治医との連携図り、行政機関や関係事業所と随時連絡をとり、継続的で安定した在宅生活が送れるよう支援をしてきた。

<介護プラン>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	58	48	37	34	32	32	32	31	30	30	7	16	387
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	58	48	37	34	32	32	32	31	30	30	7	16	387

月平均 32 件。6 月以降の変動は異動によりケースを他事業所へ移行、2 月以降に関しては、ケアマネジャー退職によるためである。その他については永眠や施設入所によるものである。今後、新規依頼を積極的に受け入れるようにしていく。

<介護予防プラン（包括支援センター委託）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	12	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	48
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	48

月平均 4 件の介護予防を担当。介護プラン同様、異動や退職による移行、永眠、施設入所による変動がある。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

居宅サービス契約者介護度別件数

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
H29 年度	19	50	198	218	41	52	30	608
H30 年度	60	104	293	233	144	93	6	933

最も依頼が多いのが、要介護 1 と 2 となっている。ケアマネジャーの人員数の減少等から前年度と比較し 325 件の減となっている。

3. 認定調査

実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	4	3	3	1	0	1	3	3	0	2	3	0	23
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	4	3	3	1	0	1	3	3	0	2	4	1	25

認定調査の実施件数は、土浦市内(23件)、市外(2件)行った。

4. その他研修

5月	第4回土浦市地域交流会&勉強会
	内部研修
11月	その人らしい看取りをするためのケアマネジメント力を高める
7月	土浦、かすみがうら地区会総会研修会
2月	第2回在宅医療、介護連携拠点事業 市民講演会
	土浦市在宅医療と介護の他職種連携研修会、意見交流会
	土浦市ふれあい SOS ネットワーク声掛け訓練開催に伴う協力について
3月	つくばロボケアセンターオープニング記念イベント
	茨城県ケアマネジャー協会 解散総会
	レビー小体型認知症サポートネットワーク茨城
	在宅ケア事例検討会
	土浦市ふれあい SOS ネットワーク声掛け訓練開催に伴う協力について

土浦市在宅介護支援センター憩いの里
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（新治地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	20	(2) 緊急通報	4	(3) 配食サービス	1

前年度業務合計は 24 件だったが今年度は、25 件と 1 件増加。今年度より啓発事業が休止されたが、「介護予防閉じこもり把握アウトリーチ事業」が追加され、訪問件数が増えたことで台帳整備件数が増加した。特別業務以外にも、今年度より地域包括支援センターの担当エリアが変わったことで混乱を招かぬよう、地域包括支援センター・在宅介護支援センターの役割の他に相談窓口についての説明も行なった。配食サービスに関しては 1 件減少したが、緊急通報システムに関しては、前年度と比較すると計 4 件であり変化無し。緊急通報システムの協力員を選出しているが、協力員が既に亡くなっていた為に緊急時の連絡が取れなかった方もいた為、定期的な見直しが必要だと感じた。

2. 相談

（方法×続柄集計）

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
業務時間	電話	10	15	49	20	14	40	25	5	178
	来所	1	5	0	0	0	4	3	0	13
	訪問	75	37	29	9	12	44	9	8	223
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	合計	86	57	78	29	26	88	37	13	414

今年度の相談合計数は 414 件と前年度と比較し、10 件減少した。一人暮らしの方々の自宅を訪問し、介護保険申請代行や緊急通報システム、配食サービスにつなげることが出来た。しかし、なかには電話口や玄関先で拒否されてしまい、必要なサービスにつなぐことができなかった対象者もいた。

（相談区分×続柄集計）

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	計
(1) 家族の支援	44	33	28	6	10	40	10	1	172
(2) 介護保険制度	49	34	38	11	8	53	20	0	213
(3) 福祉サービス	64	40	59	21	11	61	24	7	287
(4) 保健・医療	17	12	14	3	4	21	19	0	90
(5) 経済・住まい	1	0	2	0	0	0	0	0	3
(6) 地域の困りごと	0	0	0	0	1	0	0	0	1
(7) その他	70	30	48	16	19	61	11	8	263
(8) 二次予防事業	0	0	0	2	1	0	0	0	3
(9) 虐待・権利擁護	0	0	0	2	0	1	0	0	3
(10) ケアマネ支援	0	0	0	0	0	0	9	0	9

(11)認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	245	149	189	61	54	237	93	16	1,044

前年度の980件と比較すると1,044件と増加している。本人や家族からの相談もあったが、民生委員やコーディネーターからの相談や訪問依頼も多く、密に連携を図ることで取りこぼされそうな高齢者に対してアプローチをかけることができた。今年度も(2)介護保険制度や(3)福祉サービスについての内容が多かったが、(5)(6)(9)(10)(11)に関しての相談は少なかった。やはりまだ在宅介護支援センターの存在アピールが足りないことや、市役所や地域包括支援センターに直接相談をしているということが考えられる。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1) ふれあい調整会議	6
(2) スクラムネット	11
(3) その他	22
合計	39

今年度も閉じこもりや虐待ケースなど困難なケースも多かったが、ケア会議やスクラムネット会議、ふれあい調整会議を実施することで他職種の方々のいろんな視点や経験からの意見を出し合い、その方にあったアプローチの方向性を決めることができた。

4. その他

今年度は、「アウトリーチ事業」を行なった。地域包括支援センターや健康増進課、民生委員と連携し、同行訪問を実施した。玄関先で拒否されてしまったお宅もあったが、他業種の方々と連携を図ることで訪問できた。身体機能の低下によって外出できず自宅にこもっている方は少なく、農作業や近所の方と共同で仕事をしている方が多かった。

デイサービス
土浦市ふれあいセンター

ながみね

管理者 沼尻 知士

〒300-0849 土浦市中村西根2078-1

TEL 029-830-5600

FAX 029-830-5601

URL <http://showfukai.com>

E-Mail nagamine@showfukai.com

飛羽ノ園デイサービスながみね
 指定通所介護・介護予防通所介護事業
 土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
 (通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

平成 30 年度も『自助・互助・共助・公助』を重点目標とした。利用者及び家族には安心・安全なサービスを提供し、利用されていない方々には介護や老後の心配事の相談窓口としても役に立てるよう心掛けた一年であった。

昨年度末より力を入れ始めた、サービス提供の在り方を常に意識する事、質の向上を目指す事、設備や人材の有効活用を、年度を通して実践したが、目に見える大きな成果・効果までには至らなかった。しかし、各職員の意識づけには大きく影響していると感じる。たとえば、利用者のニーズを掘り下げる事、家族の意向も検討する事、そのうえで何が出来るかを考える事については、各職員が考え、相談し、行動に移すという動きが見られるようになった。

実績報告としては、昨年度末に微増となり上昇方向に転換できたか否かの最初の分かれ目となっていたが、今年度はその上昇方向を維持することができ、稼働率は冬場の体調不良での入院者が急増したひと月を除き全て 50%以上を維持することが出来た。これは、前年度の各月と比較しても全ての月において大幅に改善できている。来年度も引き続き営業を増やし、まずは、体験利用としてながみねに来ていただく事を目標とし、更に体験利用から利用開始に繋がるような流れを作れるよう努めたい。

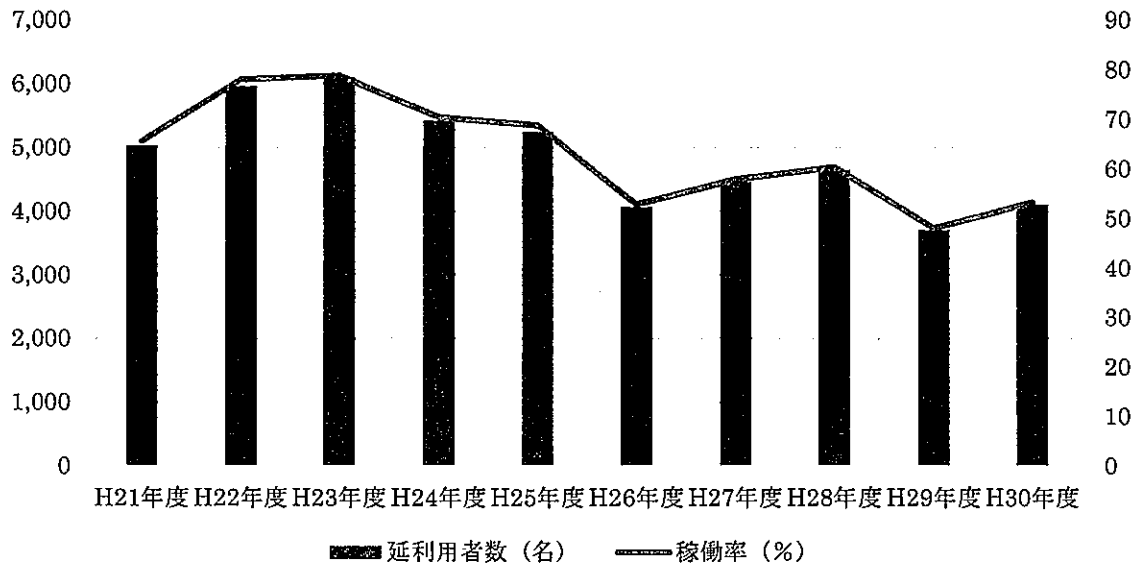
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)		25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
実人数(名)		41	43	41	42	44	41	41	44	44	43	45	48	517
延人数(名)		330	355	333	333	367	340	329	358	350	284	346	378	4,103
平成	平均利用者数(名)	12.5	11.8	12.2	12.0	11.0	11.6	12.5	11.8	11.5	12.0	12.3	12.9	12.0
29年度	稼働率(%)	50.1	47.0	48.7	48.1	44.1	46.0	49.8	47.3	46.1	48.0	49.1	51.4	48.0
平成	平均利用者数(名)	13.2	13.1	12.8	12.8	13.6	13.1	12.7	13.8	14.6	11.8	14.4	14.0	13.3
30年度	稼働率(%)	52.8	52.5	51.2	51.2	54.3	52.3	50.6	55.0	58.3	47.3	57.6	56.0	53.2
稼働率(%) 前年度比		2.7	5.5	2.5	3.1	10.2	6.3	0.8	7.7	12.2	△0.7	8.5	4.6	5.2

(2) 年間利用状況の推移

延利用者数（名）・稼働率（％）



	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延利用者数 (名)	5,028	5,954	6,097	5,415	5,242
稼働率 (%)	65.6	78	78.8	70.4	68.8
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
延利用者数 (名)	4,064	4,454	4,646	3,701	4,103
稼働率 (%)	52.8	57.9	60.3	48.0	53.2

(3) 介護度別利用状況

要介護度	平成 29 年度		平成 30 年度		前年度比	
	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)
支 1	313	8.5	316	7.7	3	△0.8
支 2	309	8.3	236	5.8	△73	△2.5
1	1,196	32.3	1,424	34.7	228	2.4
2	1,152	31.1	798	19.4	△354	△11.7
3	176	4.8	721	17.6	545	12.8
4	359	9.7	460	11.2	101	1.5
5	196	5.3	148	3.6	△48	△1.7
介護保険外	0	0	0	0	0	0.0
計	3,701	100	4,103	100	402	—

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

利用者はもちろんのこと、家族・ケアマネジャーからの要望や意見を活かして細かな部分まで対応することができた。内部研修等を通してスキルアップや他デイサービスでの取組などを知り、質の向上に努めた。

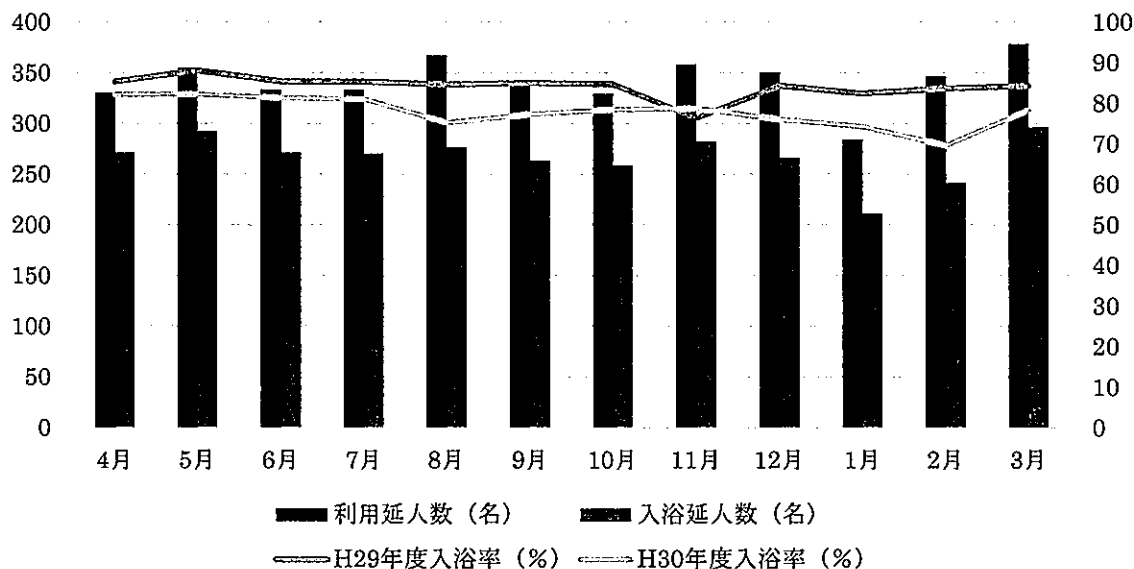
(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者の状態変化に配慮し、リスクが生じた場合にはすみやかに家族・ケアマネジャーへ報告し、介護計画書の見直しに努めた。また、筋力やADLの向上が見られた場合には自立した生活を送って頂くためにも本人にとってステップアップしたサービス内容に変更するようにした。また、そのような変化を把握した家族やケアマネジャーから喜びの声が聞かれた。今後も通所介護計画書の内容を職員間で確認・熟知するよう努めていきたい。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

バイタルチェックをもとに他職員と連携し、安全に入浴ができるように努めた。入浴メインで利用されている方もいる。バイタルの数値が良くない方などへの声掛けや対応の方法を看護師と連携し、今後もそういった方が気持ちよく安心して入浴できるよう体制を整える。

延入浴者数（名）・入浴率（％）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数（名）	330	355	333	333	367	340	329	358	350	284	346	378	4,103	
入浴延人数（名）	271	292	271	270	276	263	258	282	266	211	241	296	3,197	
入浴率（％）	平成29年度	85.3	88.1	85.4	85.3	84.6	85.0	84.7	76.3	84.3	82.4	83.7	84.3	84.1
	平成30年度	82.1	82.2	81.3	81.0	75.2	77.3	78.4	78.7	76.0	74.2	69.6	78.3	77.9
前年度比（％）	△3.2	△5.9	△4.1	△4.3	△9.4	△7.7	△6.3	2.4	△8.3	△8.2	△14.1	△6.0	△6.2	

(4) 食事サービス

利用者にとって食事は日々の大きな楽しみであると同時に、健康を左右する大切な要素の一つである為、一人ひとりの嗜好と栄養状態に合った食事の提供に努めた。その中で季節感を大切に、利用者に喜ばれるメニュー作りを心掛けた。また、選択食の実施やおやつ作りなどを通して選ぶ楽しみ、作る楽しみを体感して食への関心を持つ手助けができた。

1. 栄養所要量

	栄養所要量								
	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(g)
4月	677	26.8	17.2	175	4.3	0.37	0.41	54	4.2
5月	649	26.3	15.8	172	4.0	0.38	0.41	49	4.2
6月	683	27.4	18.9	179	4.3	0.42	0.40	48	4.2
7月	675	27.2	17.5	176	4.2	0.38	0.40	53	4.2
8月	670	26.5	17.5	180	4.2	0.39	0.39	49	3.9
9月	677	27.1	17.6	182	4.2	0.37	0.42	48	3.9
10月	676	27.6	17.0	189	4.3	0.39	0.45	52	4.1
11月	695	27.7	18.0	187	4.2	0.38	0.42	50	4.2
12月	697	28.5	17.8	178	4.3	0.40	0.45	55	4.3
1月	681	26.6	17.9	167	4.0	0.38	0.42	55	4.0
2月	686	27.3	18.1	178	4.4	0.38	0.45	48	4.3
3月	685	27.6	17.3	182	4.4	0.38	0.42	58	4.3
平均	679	27.2	17.6	179	4.2	0.39	0.42	52	4.2

2. 食事提供状況

①食数(食)

平成30年度	
デイ利用者	3,973
職員	1,319
お弁当、定食(500円)	259
実習生	21
延長(夕食)	0
他(付添、体験利用者)	付2 体23
合計	5,597

②毎食時の検食実施(検食簿記入)

利用者の視点で、主食・副食の分量や味付け、加熱状況などが適切となっているか他業種の職員がチェックすることで調理法など、より良い提供ができるよう努めた。

3. 選択食

日 時	A	B
H30年4月19日	メバルの蒲焼風	ロールキャベツ
H30年5月25日	中華丼	牛丼
H30年6月23日	野菜たっぷり豚しゃぶ	タラのカレー風味マリネ
H30年7月18日	アジの蒲焼風	蒸し鶏のごまだれ
H30年8月30日	茄子の挟み揚げ	チキンロール
H30年9月21日	鶏肉のきのこホイル焼き	タラときのこの甘酢あんかけ
H30年10月13日	鮭のチャンチャン焼き	すき焼き風煮
H30年11月14日	中華丼	アジの蒲焼丼
H31年12月20日	ブリ大根	鶏団子煮
H31年1月25日	鮭のチャンチャン焼き	鶏肉と野菜のトマト煮
H31年2月23日	煮込みハンバーグ	鮭ときのこのホイル焼き
H31年3月20日	春野菜のかき揚げ丼	親子丼

4. 行事食

	誕生会	その他	おやつ教室
4月	赤飯 桜おこわ		あんこ焼き
5月		こどもの日おやつ作り	ヨーグルトゼリー
6月			チーズケーキ
7月	鮭の混ぜご飯 チェリーのケーキ	七夕	小豆のミルク餅
8月	赤飯 シフォンケーキ	ながみね祭り	甘酒ミルクプリン
9月	赤飯 桃のムースケーキ	敬老会	バナナケーキ
10月	きのこご飯 マロンケーキ		ヨーグルトケーキ
11月	ちらし寿司 りんごケーキ		二色ゼリー
12月	赤飯 いちごのムースケーキ	クリスマス会 餅つき	きな粉蒸しパン
1月	あさりご飯		チーズケーキ

	豆腐のスフレケーキ		
2月	桜おこわ ヨーグルトのムースケーキ	節分	インフルエンザ流行のため 中止
3月	ちらし寿司 いちごのロールケーキ	雛祭り	マシュマロプリン

7/25～：一週間お風呂上りに利用者と作成した梅ジュースを提供

9/14～：一週間敬老週間で紅白まんじゅうを提供

5. 衛生管理

- ・ 検便：毎月実施（新規採用者は入職前に必ず検査する）
- ・ 食品の中心温度の測定の実施（測定結果は給食日誌に記入）
- ・ 原材料及び検食の冷凍保存の実施（14日間）
- ・ 害虫駆除の実施状況の確認（年4回実施）
- ・ 厨房内の定期的な清掃の実施(自己衛生管理表に記入)
- ・ 包丁、まな板、調理台、水槽の使い分けの徹底、時間、温度の管理
- ・ 自主点検表による白衣、爪、指輪、マニキュアの有無、手指の傷の有無、下痢、腹痛等の体調不良のチェック
- ・ 食材の定期的な放射性物質測定を毎月実施
- ・ 厨房外下水清掃を毎月実施

6. 売り上げ・食材仕入れ額

地元の野菜を安く仕入れ、冷凍品や加工品が値上がりするなか、新鮮で安い地元の食材をうまく活用した。

7. 嗜好調査の実施

2月に利用者や家族にアンケートを実施。また、介護職員・看護職員と連携し、利用者からの要望を聞き取り、食事の様子を厨房職員も一緒に観察することで嗜好を把握した。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

プライバシーには十分配慮した。定期的な声掛けで失禁が減った、車イスでトイレに行けるようになった、ベッドではなくトイレで排泄できるようになった等の自立へ向けた排泄介助を主軸として介助を行った。

(6) レクリエーション・行事

外出行事・個別のレクリエーションに新たなものを取り入れることができず、また個別活動も上手く進めることができなかった。水中ウォーキングの日数を1日増やすことで新規利用者の利用にも繋がった。利用者より「自分達で栽培した野菜を食べたい」という意見があり、畑を一から作り収穫する所まで利用者で行い、喜んで頂いた。来年度は更に利用者一人一人の希望に沿った行事やレクリエーションを考え満足度を高めたい。

【レクリエーション実施状況（回数）】

水中ウォーキング	45	ゴルフ	21	釣り	11
紙工作	36	テーブルホッケー	13	トランプ	8
ボーリング	11	射的	24	お手玉	23
輪投げ	26	バスケ	11	その他	24
サッカー	18	玉入れ	14	計 14 種類	297

【行事实施状況（参加人数）】

外出会	67	散歩	278		
買い物会	24	おやつ教室	14	計 4 種類	383

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防）サービス

加算算定は行なっていないがそれぞれの残存機能に応じた声掛け・見守り・一部介助での日常生活動作等のリハビリを実施した。四肢の運動機能低下による転倒防止、平行棒を利用した歩行訓練階段昇降での運動機能向上に努めた。個別リハでは、理学療法士による個別プログラムを作成して身体能力に合わせたものを実施した。毎日、食前の口腔体操やカラオケによる心肺機能の維持向上にも努めた。水中ウォーキングも定着してきている。毎月 1 回の個別機能訓練計画モニタリングを実施している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	3	5	6	4	3	7	5	6	7	6	9	8	69
運動器機能（名）	35	32	33	35	35	33	35	29	33	34	35	38	407
合計	38	37	39	39	38	40	40	35	40	40	44	46	476

(8) 送迎サービス

【送迎状況】

事故防止と個々に合わせたルートや時間の調整等、利用者や家族の要望に応えられるよう努めた。今年度は大きな事故はなかったがリフト付車両のリフトの未作動等迅速に対応することができた。

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	327 (3)	353 (1)	333 (0)	333 (1)	365 (2)	339 (1)	325 (3)	355 (2)	347 (3)	283 (1)	342 (6)	373 (2)	4,075 (25)
送り (減算)	325 (5)	350 (5)	330 (3)	324 (8)	365 (2)	334 (6)	315 (2)	352 (6)	342 (8)	279 (3)	277 (5)	369 (6)	3,962 (59)
延回数 (減算)	652 (8)	703 (6)	663 (3)	657 (9)	730 (4)	673 (7)	640 (5)	707 (6)	689 (11)	562 (4)	619 (11)	742 (8)	8,037 (84)

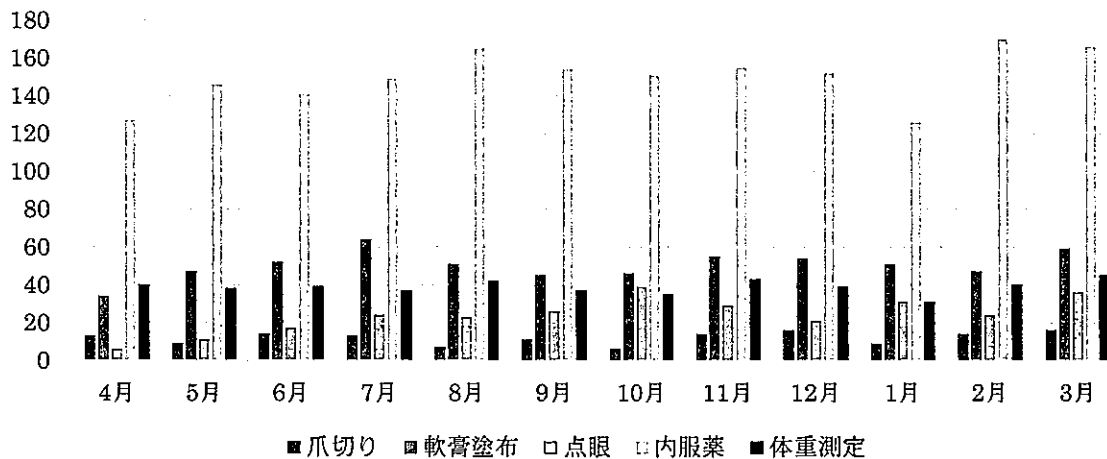
【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	249	772	465	547	568	546	443	660	509	353	537	656	6,305
MPV	695	779	537	703	791	705	824	771	653	670	645	822	8,595
セレナ	629	726	750	572	699	693	740	762	629	744	714	801	8,459
ムーブ	739	805	660	706	814	761	784	802	746	760	851	933	9,361
ワゴンR	720	780	821	718	709	721	736	509	490	506	436	534	7,680
合計	3,032	3,862	3,233	3,246	3,581	3,426	3,527	3,504	3,027	3,033	3,183	3,746	40,400

(9) 看護報告 (処置集計報告)

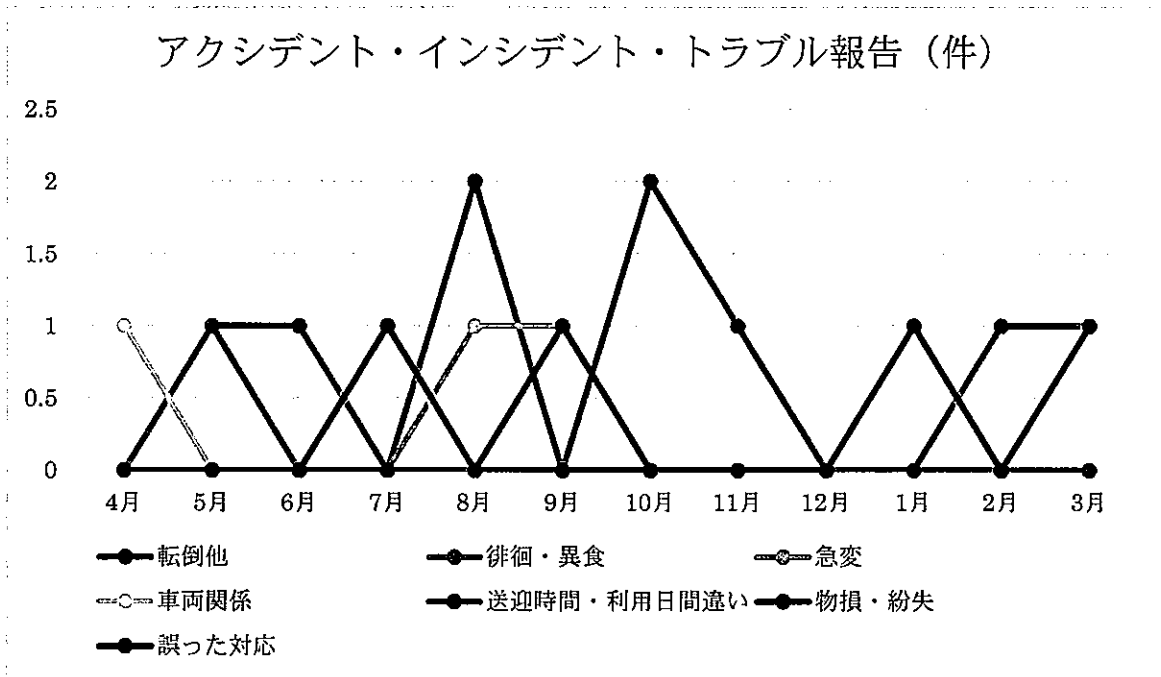
利用者本人への声掛けによる体調確認やバイタルチェックをすることで個々の体調を把握して利用者に合わせ負担にならないようにサービスを提供できた。利用者の希望に応じて軟膏塗布・湿布貼付・点眼・内服薬の管理を行った。爪切りや耳かきも本人・家族では行えない方や希望される方に実施した。口腔ケアに対しては来所時と食後に実施し清潔保持・感染予防・誤嚥による肺炎予防に努めた。突然の体調不良時などは家族・ケアマネジャーに連絡し迅速な対応ができた。足浴（フットケア）導入により下肢の倦怠感が軽減し血流改善し睡眠がスムーズになったという声も聞かれた。毎月1回、全利用者の体重測定を行い、家族やケアマネジャーへの報告を行なっている。

処置集計 (回)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	13	9	14	13	7	11	6	14	16	9	14	16	142
軟膏塗布	34	47	52	64	51	45	46	55	54	51	47	59	605
点眼	6	11	17	24	23	26	36	29	21	31	24	36	284
内服薬	127	146	141	149	165	154	151	155	152	126	170	166	1,802
体重測定	40	38	39	37	42	37	35	43	39	31	40	45	466
合計	220	251	263	287	288	273	274	296	282	248	295	322	3,299

(10) ヒヤリハット報告



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落・外傷	0	1	1	0	2	0	2	1	0	0	1	1	9
徘徊・異食	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
利用者急変	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
車両の物損・スピード・接触	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
送迎時間・利用日間違い	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
備品物損・書類等紛失・その他紛失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤った対応	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3
合計	2	2	1	1	3	3	2	1	0	1	1	3	20

(11) 地域連携・貢献活動 (介護予防教室等)

ふれあいセンター共催での夏祭り・もちつき大会等実施した。来年度は地域へ活動の場を広げ、廃品回収・地域行事等にも積極的に参加して行きたい。

(12) 実習生・ボランティア受入

今年度は、新たなボランティアの受け入れに力を入れてきた。劇団や単独のギター演奏等、新しい感覚で利用者に満足いただくことが出来た。また利用者から人気のある琴のボランティアの方々には今年も敬老会に来館頂き、利用者からは「満足の声」が聞かれた。今後も新規・新しいジャンルのボランティアの開拓をはじめ、積極的な受入を行う。

【実習生・ボランティア受入報告】

種別	学校名	実人数 (名)	延日数 (名)
教育 実習生	筑波大学	20	100
	茨城大学	3	15
合計		23	115

ボランティア名	来園回数 (回)
こもれび	41
尚恵学園 (ハンドベル)	7
琴さらりん	3
劇団予科練一座 七桜	3
今野様ギター演奏	1
合計	55

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	平成 29 年度			平成 30 年度		
	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)	登録者数 (名)	新規利用者 (名)	利用終了者 (名)
4 月	47	1	0	55	7	0
5 月	48	0	4	57	1	4
6 月	44	2	5	57	0	3
7 月	41	2	2	54	4	2
8 月	41	2	0	57	0	1
9 月	43	4	1	57	1	3
10 月	46	3	3	59	1	1
11 月	46	2	2	61	3	0
12 月	46	5	6	62	0	0
1 月	45	1	0	62	0	0
2 月	46	3	1	62	2	0
3 月	48	5	2	64	3	3
合計	541	30	26	707	22	17

(2) 介護度別登録利用者

要介護度	平成 29 年度 (平成 30 年 3 月 31 日現在)		平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)		前年度比	
	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)	実人数 (名)	構成比 (%)
支 1	4	9.3	3	6.2	△1	△3.1
支 2	3	7.0	4	8.3	1	1.3
1	15	34.9	14	29.2	1	△5.7
2	10	23.2	13	27.1	3	3.9
3	5	11.6	7	14.6	2	3.0
4	3	7.0	5	10.4	2	3.4

5	3	7.0	2	4.2	△1	△2.8
介護保険外	0	0	0	0	0	0.0
計	43	100	48	100	7	—

(3) 利用者年齢構成

年齢（歳）	平成 29 年度（名） （平成 30 年 3 月 31 日現在）		平成 30 年度（名） （平成 31 年 3 月 31 日現在）		前年度比（名）	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	1	0	2	0	1
65～69	0	1	0	0	0	△1
70～74	3	4	1	3	△2	△1
75～79	1	2	3	3	2	1
80～84	3	15	7	13	4	△2
85～89	6	5	10	10	4	5
90～	2	7	2	13	0	6
男女別合計（名）	15	35	23	44	8	9
男女比（％）	30	70	34	66	4	△4
合計（名）	50		67		17	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（平成 31 年 3 月 31 日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
中	1	霞ヶ岡	3	板谷	1
中村南	3	小岩田東	1	荒川沖東	1
乙戸	2	永国東	4	中高津	1
烏山	3	中村東	3	上高津	2
西根南	4	中村南	6	天川	5
荒川沖西	1	中村西根	2	並木（つくば）	2
小松	2	北荒川沖	1	下広岡（つくば）	1
荒川沖	3	摩利山新田	1	中荒川沖	1
下高津	3	うずら野	1	ひたち野東（牛久）	1
大岩田	2	中央	1		
西根南	1	荒川沖西	1	合計	64

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	1
二中地区	0
三中地区	30
四中地区	20
五中地区	0
六中地区	7
都和中地区	1
新治中地区	0
朝日中地区	1
市外	4
合計	64

土浦市ふれあいセンターながみね 土浦市指定管理者受託事業

1. 運営

土浦市唯一の「ふれあいセンター（～子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できる複合的福祉施設～）」としてその役割である幅広い年齢層の世代間交流、また利用者の健康増進や文化的交流促進のため、地域・市民及び各種団体等との連携を図りながら市民の福祉の向上に資するための運営に努めた。

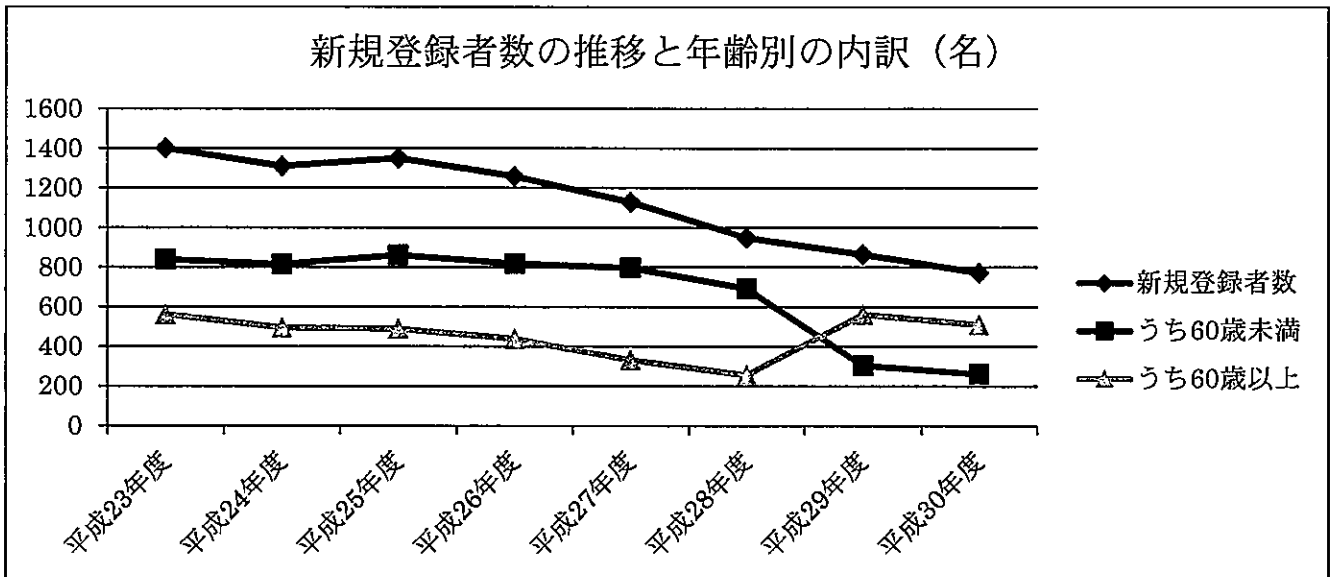
施設利用者と共に明るく楽しく安心して利用できるふれあいセンターを目指し、センターの中心設備であるプールと浴室を皆様に快適に使って頂けるよう日常の管理業務を適切に実施した。

- (1) 市民の福祉の増進を図るとともに世代間交流を支援し、広く福祉の向上に資することを目的とした管理運営を行った。
- (2) 施設の適切な維持管理及び効率的な運営に努めた。
- (3) 業務にあたっては、関連する法規を遵守した。
- (4) 利用者に対するサービス提供に努力し、利用の促進を図った。
- (5) 土浦市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底した。

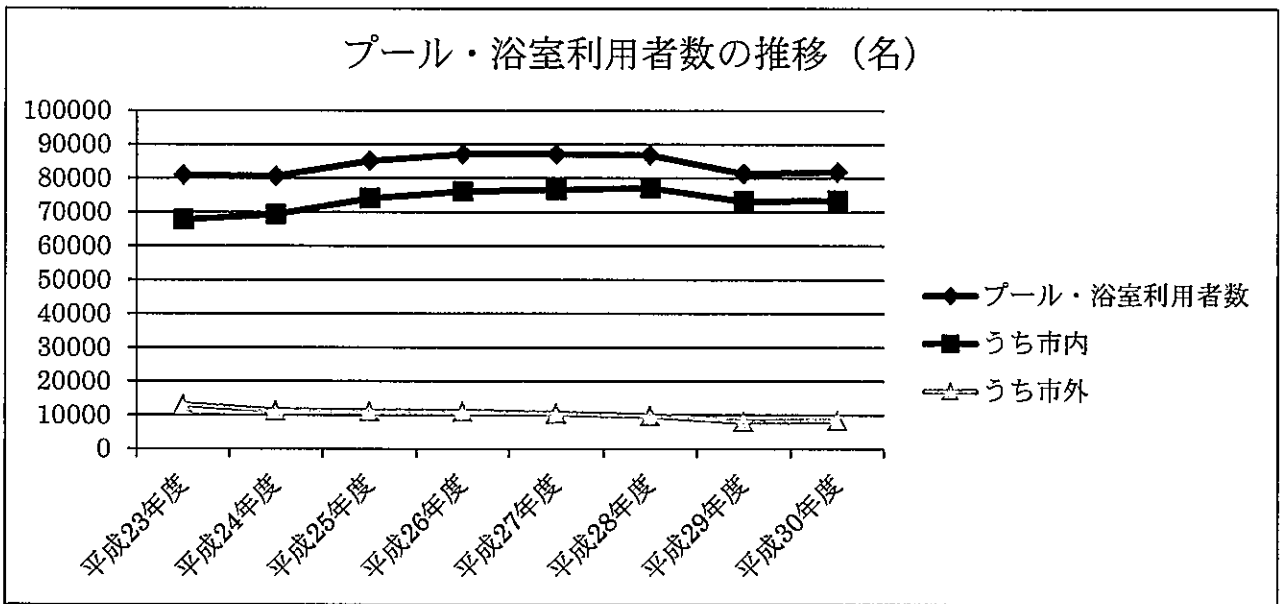
2. 事業報告

(1) 施設の運営

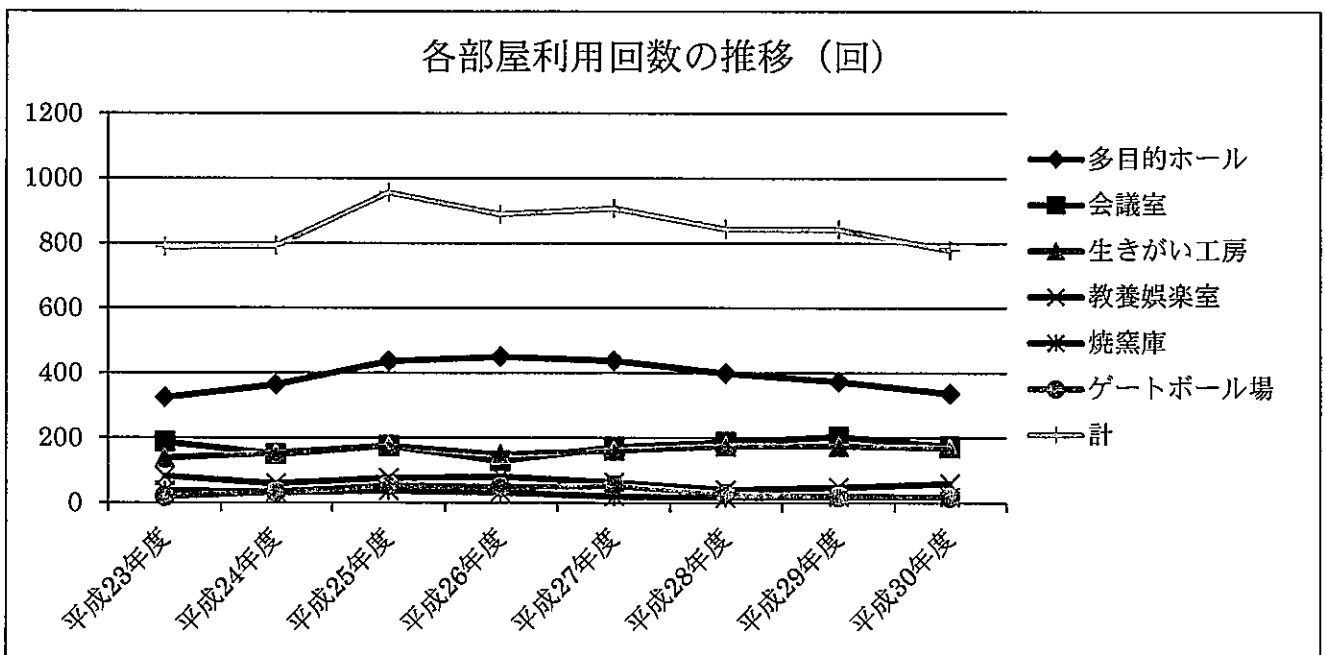
①市内利用者登録証の発行、プール・浴室、各部屋の利用状況



登録者延人数は12,735名(平成31年3月31日現在)、今年度の新規登録者数は773名、前年度の89.3%と減少しており、過去最低の新規登録者数となった。有効期限が3年間あることも新規登録者の減少に影響していると考えられるが登録証の発行開始から新規登録者の減少が継続している。昨年度同様に新規登録者のうち、60歳未満の登録者よりも60歳以上の登録者の数が多いという逆転現象が今年度も引き続いている。



施設のメインであるプール・浴室においては利用延人数 81,821 名（内減免・無料利用者数は 17,595 名）で、前年度の約 100.5%（減免・無料利用者数は前年度の 101%）に留まり、3 年連続の減少から一転し、微増となった。



各部屋利用回数合計は 779 回、前年度から減少となっている。唯一の有料スペース（減免・無料もあり）である多目的ホールの利用回数合計は 337 回、前年度比は約 10%の減少となっており、収入面でも減少となった。

趣味室は来館された方が自由に囲碁や将棋を行うことで交流の場となっており、ほぼ毎日利用されている。焼窯庫については現在 1 団体のみの利用となっており、市の施設として幅広い方々に利用して頂けるよう検討していくことが必要である。その他、会議室・生きがい工房・教養娯楽室は利用許可こそ必要ではあるが無料のため、市内に限らず、市外の団体も利用されている。

②福祉の増進及び世代間交流促進に寄与する事業

例年同様に、併設デイサービスと合同で夏祭り・もちつき大会を開催するなどデイサービスでの活動を知って頂く機会を設け、今年度は更に近隣の大型ショッピングモールへ団体登録し、キャンペーン活動に参加することで「ふれあいセンターながみね」及び「デイサービスながみね」の周知活動をすることができた。今後も各種行事を施設一体となって協力し、多くの方々に参加してもらえるよう企画するとともに世代間交流がしやすい施設となるよう環境整備に力を入れて行きたい。

③浴槽・プール等の水質管理

センターの主設備である浴槽・プールは運営上重要な位置づけであり、利用者の方が多く利用する設備である。レジオネラ属菌の検査を基準以上の回数で実施する等、水質の管理・清掃の徹底することで利用者が安全に利用できる施設として衛生管理に努めた。

○7/9 浴槽・15m プール・ワールプール配管洗浄

④センターの活性化対策（新しい取組など）

中庭の花壇整備やイルミネーションは変わらず好評であった。また、施設内外の環境整備も力を入れることができた。これらは、利用者にも評判がよく、職員と利用者の会話も増えるきっかけとなった。

更に、今年度初の試みとして、12月にながみね健康 Fes を開催し、「老後のこと・介護のこと・健康のこと」を相談できる一日とした。このイベントにも沢山の利用者に参加頂けた。

○8/19 夏祭り（土浦市観光協会など）

○9/7 敬老の日（市内在住 60 歳以上の方に無料利用券配布）

○10/31 イルミネーション点灯開始（～H30.2.28）

○12/2 ながみね健康 Fes

○12/26 もちつき大会

○1/4 新年大抽選会

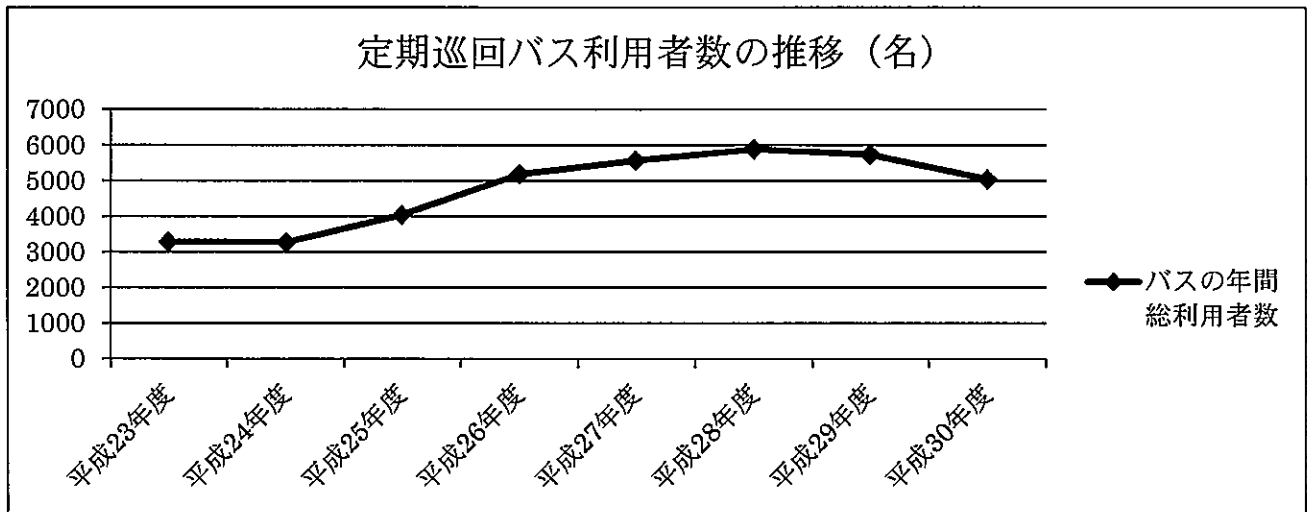
○3月 雑飾り設置

⑤運営における安全確保

今年度は、パンクのいたずらが続いたこともあり、駐車場及び駐輪場に LED ライトを新たに設置し、犯罪の抑止と既に設置している防犯カメラの監視精度が高まるよう対策をとった。不特定多数の方が利用する公共施設であるため、犯罪抑止効果、また職員が安心して働ける環境という点でも大きく寄与している。また、営業時間中は定期巡回、営業時間外は自動警備を行い、防犯・防火に努めた。

⑥バスによる団体送迎・定期送迎の実施

* 乙戸地区ルート：(日) (水) (金) * 中村地区ルート：(火) (木) (土)



バスの利用者数についても減少となり、現在の定期送迎バスルート上のニーズが頭打ちになっているのか、そもそも定期バスの運行を認知されていないのか検討する余地があると考えます。また、現在の送迎ルートでは重複するコースが存在するため、重複を廃止して送迎範囲の拡大も含めた送迎ルートの見直しも必要と考えます。バス利用者が減少したためか、3便目の店員オーバーによるピストン運行又はデイサービスの空き車両を利用した4便目の運行はあまり発生しなかった。

⑦その他センターの管理運営に必要な業務

○他施設との連携

定期的に他福祉センターとの会議を行うことによりお互いの問題を共通の課題として認識することができた。

* 老人福祉センター・ふれあいセンター長会議 (6/19・9/19・12/18・3/19)

○委託業者との連携

機械設備、プール・浴室管理、清掃の業務委託を一括して(株)ビートに委託している。日常的な報告・連絡・相談はもちろんであるが月1回(第4木曜日)の定期会議を実施し、情報・課題の共有と問題解決を通して連携の強化を図ることができた。

* CPR講習実施 (3/25)

○経費削減の実施

運用にかかる水光熱費は支出全体の1/3あまりを占めている。今後も継続して経費削減案を実行し、利用者の不便とならない範囲で支出の見直しに努めた。

(2) 施設及び設備等の維持管理

委託業者と連携を図り、運営に支障がないよう設備機器について日常的点検・清掃を行い、安全かつ快適に利用できる環境作りに努めた。開館から15年経過しているということもあり、設備の老朽化・消耗等による修理・修繕も多々あった。緊急対応を要する場合には迅速に土浦市に連絡・指示・協力を仰ぐことにより、大事に至らず運営を続けることができた。

①建物の維持管理

- 10/11 駐車場屋外カメラ移設工事及びLED投光器設置工事
- 10/29 女子更衣室洗面台漏水修理

②消防設備保守点検

- 7/30 消防機器点検
- 2/25 消防設備点検

③電気設備

- 毎月 電気工作物点検
- 12/17 自家用電気工作物年次点検（全館停電）

④給排水設備

- 8/27 貯水槽・貯湯槽清掃及び点検

⑤機械日常管理業務委託

- 5/28 1号貯湯槽加温配管腐食フレキ管交換
- 8/27 ネットシャワー用補給水電動弁類交換
- 11/26 塩素注入ポンプ交換
- 11/26 15mプール戻り配管電動バルブ交換
- 1/7 補給水漏水管交換工事
- 2/25 給湯管漏水修繕
- 3/15 温水ポンプ更新工事

⑥地下燃料タンクの保守管理

- 12/18 重油地下タンク漏洩検査・点検
- 消防署による立入検査

(3) その他施設の運営に関わる維持管理

①防火管理

- 消防法に基づく点検（消防機器点検・自衛消防訓練・消防設備点検）
- 1/4 煤煙検査

②運動プール及び浴室等の衛生管理

- 定期清掃（毎月第4月曜日）：年計12回
- 水質検査（毎月第4火曜日）：年計11回（プール設備利用中止の間の1回は実施せず）

③センター内の保安警備

- 開館時間内：職員による定時巡回・目視による確認。
- 開館時間外：24時間体制での機械（警備保障会社）による監視。

④施設清掃業務

○日常清掃業務に加え、専門業者委託により床・カーペット・脱衣室・エアコンフィルター等の清掃を実施した。

○害虫駆除：5月28日、6月25日、8月27日、11月26日、2月25日

⑤廃棄物処理

○廃棄物搬出：毎週水・土曜日（清掃センターへ）

⑥緑地の維持管理

○季節に応じた維持管理をすることで気持ちの良い環境整備に努めた。

⑦緊急時の対応

○入浴中やプール遊泳中の体調悪化を防止するために注意喚起や巡視の徹底を行った。緊急時は一体となって利用者の生命を第一に対応し、特に併設デイサービス開館中は看護師との連携を重視した。今年度は浴槽内の湯温を40.5℃に設定し、「湯あたり」「ヒートショック」予防に努めた結果、その症状を訴えた利用者は減少した。

⑧防犯・防災対策

○防犯・防災・緊急時の対応マニュアルを整備。また、併設デイサービスとの合同避難訓練を年2回、同一法人事業所である特別養護老人ホームの夜間避難訓練（6/20）にも参加した。

（4）センターの管理運営

①プール・浴室の管理運営

○監視職員は外部委託を行うが施設の運営上、プール・浴室の管理は重要な位置づけであることをそれぞれに理解し、訪れた方が繰り返し利用したいと思う施設になるよう努めた。

②送迎バス運転の管理運営

○送迎バスの運行で大きな事故もなく定期送迎・団体送迎を実施できた。

（5）センターの各種報告・調査及び統計資料の作成

○毎月10日に月報（実績）を土浦市へ報告。

○平成30年度年報を作成し、土浦市へ提出。

3. 自主事業

（1）講座の開催

○委託業者である（株）ビートと共同で講座を開催した。プール設備が使用できない期間があったが、講座回数を増やすことができ、結果として前年度よりも多くの方に参加頂けた。講座をきっかけにふれあいセンターを知ったという方も多く、また市報への情報掲載等によって施設の周知に繋げることができた。

【講座開催回数（回）・参加延人数（名）】

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
水中 ウォーキング	—	3	4	—	—	1	4	4	1	3	3	4	27
	—	44	64	—	—	13	64	55	18	43	46	50	397
水中ウォーキ ング(初心者)	—	4	3	—	—	1	4	4	1	3	4	3	27
	—	62	48	—	—	13	55	51	13	42	51	35	370
水中ウォーキ ングプラス	—	4	3	—	—	1	4	4	1	4	4	2	27
	—	61	40	—	—	18	74	70	16	66	58	29	432
書道教室 (A)	2	2	2	2	—	2	2	2	2	2	2	2	22
	18	19	19	18	—	18	20	21	21	21	20	19	214
書道教室 (B)	2	2	2	2	—	2	2	2	2	2	2	2	22
	22	20	22	23	—	19	20	18	15	21	22	21	223
英会話教室 (A)	3	3	5	4	3	4	4	4	4	3	4	4	45
	39	30	51	38	28	40	40	36	22	27	37	39	427
英会話教室 (B)	3	3	5	4	3	4	4	4	4	3	4	4	45
	18	18	29	23	13	24	21	35	17	16	22	23	259
英会話教室 (C)	3	3	5	4	3	4	4	4	4	3	4	4	45
	15	13	23	16	11	16	17	9	4	6	14	13	157
幼児 英会話教室	3	3	5	4	3	4	4	4	4	3	4	4	45
	5	6	15	11	9	12	12	12	8	9	11	11	121
体力 アップ編	3	3	4	—	—	1	4	4	1	3	4	3	30
	37	33	50	—	—	13	47	56	12	41	54	40	383
かんたんスト レッチ体操	3	4	3	—	—	1	4	4	1	3	4	2	29
	32	39	36	—	—	10	35	34	10	32	34	15	277
美ユーティ ボディ	3	4	4	1	—	3	4	4	1	3	4	3	34
	46	54	45	12	—	33	49	47	11	37	46	35	415
アクア ZUNBA	—	3	5	—	—	3	4	4	1	3	3	4	30
	—	22	32	—	—	24	29	41	8	29	25	35	245
ケーナ 教室	1	2	2	1	—	2	2	1	1	3	1	2	18
	15	28	28	16	—	38	37	20	16	46	14	30	288
合計(回数)	26	43	52	22	12	33	50	49	28	41	47	43	446
合計(人数)	247	449	502	157	61	291	520	505	191	436	454	395	4,208

(2) デイサービスとの連携

デイサービスとの一体運営ということで特にデイサービス看護師との連携によって、体調不良者（湯あたり等）への対応を迅速かつ適切に行うことができ、救急搬送は 3 件あったが大事には至らなかった。また、夏祭りや餅つき大会の共催により、互いの利用者の交流や施設の周知活動に活用できた。

(3) 野菜販売

委託業者である（株）ピート主体となり、毎週火・木・金曜日の午前中に野菜販売を定期的実施した。

